

学生確保の見通し等を記載した書類（資料）

【目次】

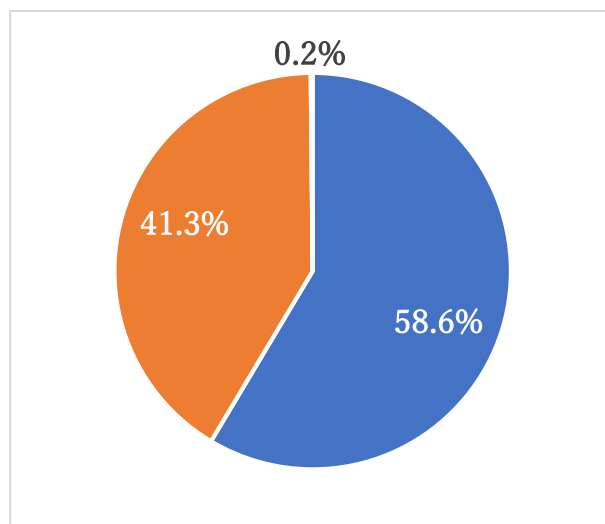
【資料 1】	文部科学省令和 2 年度学校基本調査（抜粋）	2
【資料 2】	①-A 調査 分析結果、アンケート調査内容.....	3
【資料 3】	①-B 調査 分析結果、アンケート調査内容.....	13
【資料 4】	①-C 調査 分析結果、アンケート調査内容.....	21
【資料 4-1】	①-C 調査Ⅱ 分析結果、アンケート調査内容	30
【資料 5】	大阪河崎リハビリテーション大学の経済支援制度一覧	42
【資料 6】	理学療法士教育における大学院修士課程の設置について（要望）	46
【資料 7】	大学院リハビリテーション研究科（修士課程）の設置について（意見）	47
【資料 8】	大阪河崎リハビリテーション大学大学院研究科（修士課程）設置に係る意見書 ..	48
【資料 9】	ニーズ調査 分析結果、アンケート調査内容	49

対象者	2014-2019 年度臨床実習派遣先 リハビリテーション科スタッフ (理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)
調査期間	2019 年 10 月～2020 年 3 月
調査方法	郵送によるアンケート送付
回答者数	630 件 (246 施設 1,230 件に郵送) 回収率 51.4%

【アンケート結果】

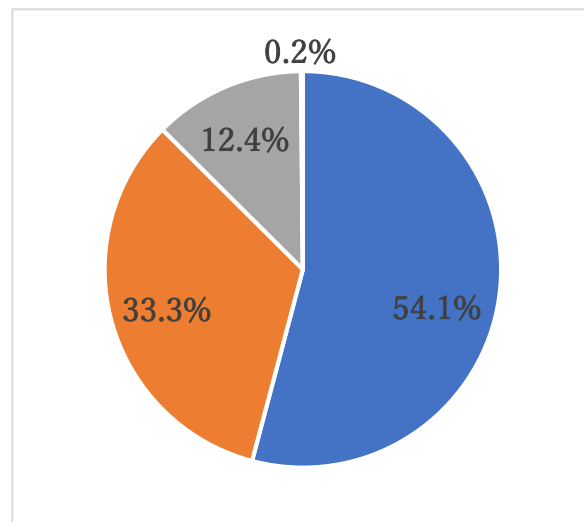
1. 性別

■ ① 男	369	58.6%
■ ② 女	260	41.3%
■ 未回答	1	0.2%
計	630	



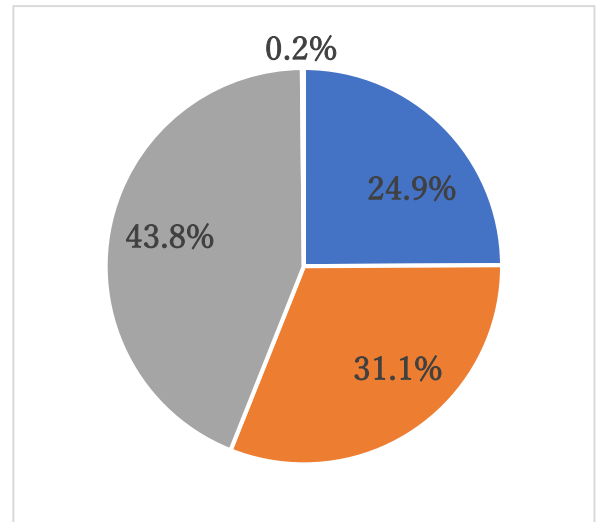
2. 資格について

■ ① 理学療法士	341	54.1%
■ ② 作業療法士	210	33.3%
■ ③ 言語聴覚士	78	12.4%
■ 未回答	1	0.2%
計	630	



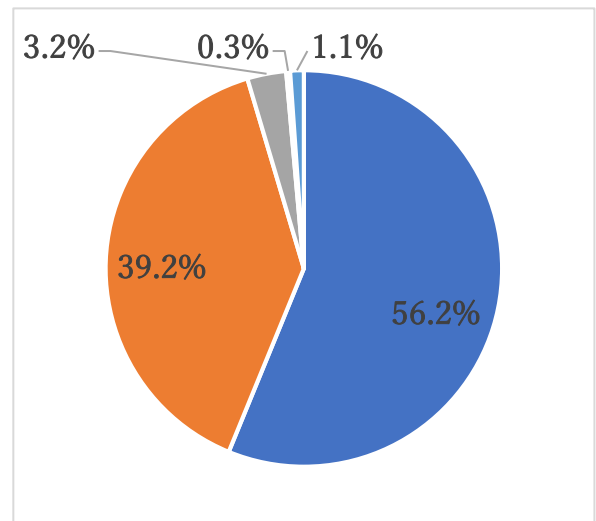
3. 経験年数について

■ ① 4年未満	157	24.9%
■ ② 4年以上～10年以内	196	31.1%
■ ③ 10年以上	276	43.8%
■ 未回答	1	0.2%
計	630	



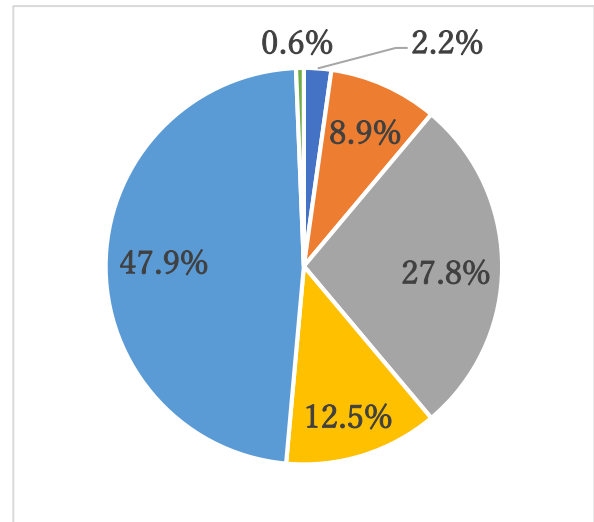
4. 出身学校について

■ ① 専門学校	354	56.2%
■ ② 大学	247	39.2%
■ ③ 大学院修士課程	20	3.2%
■ ④ 大学院博士課程	2	0.3%
■ 未回答	7	1.1%
計	630	



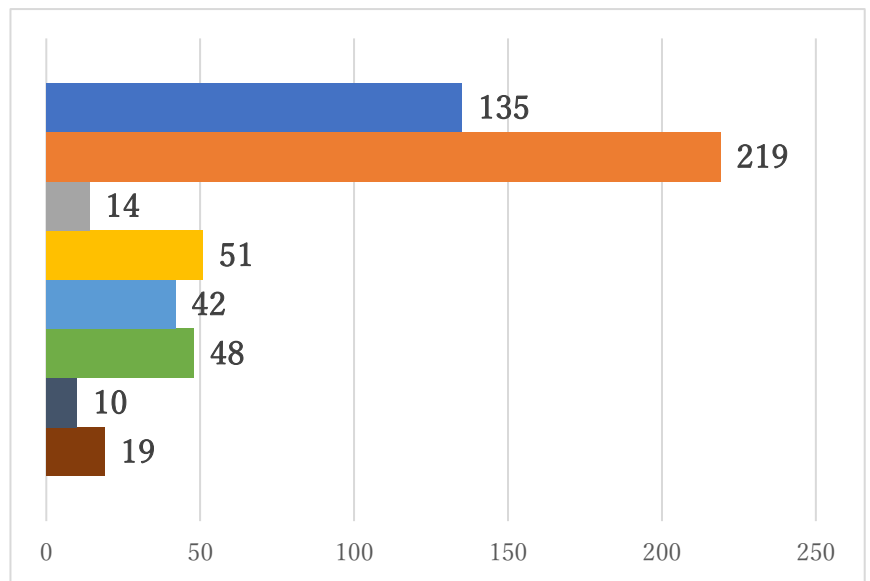
5. 社会人を対象とする大学院（修士課程・大学は問わず）への進学希望はありますか？

■ ① ぜひ進学したい	14	2.2%
■ ② 機会があれば進学したい	56	8.9%
■ ③ 必要を感じた場合には進学したい	175	27.8%
■ ④ 夜間や土日など仕事と勉学が両立できれば進学したい	79	12.5%
■ ⑤ 進学は考えていない	302	47.9%
■ 未回答	4	0.6%
計	630	



6. 設問5で①～④を選んだ方へ質問です。下記より理由を選んでください。（複数回答可）

- ① 研究に取り組み、専門性を深めたいから
- ② 高度専門職業人として知識・技術を身につけたいから
- ③ 研究機関などでの研究職に就きたいから
- ④ 大学等の教員になりたいから
- ⑤ その他への就職に有利になるから
- ⑥ 学位（修士号）が欲しいから
- ⑦ 周りに勧められたから
- ⑧ その他

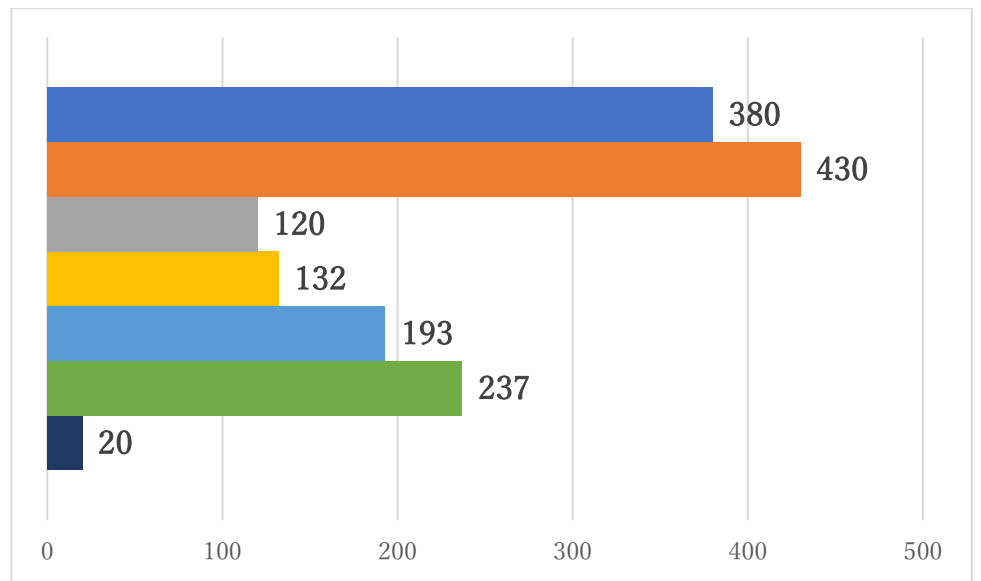


その他の内訳

研究費が取得しやすい	1
キャリアアップ昇給	1
未回答	17

7. 大学院に進学する場合、重視することは何ですか？（複数回答可）

- ① 研究・指導内容
- ② 学費
- ③ 奨学金制度
- ④ 資格
- ⑤ 施設・環境
- ⑥ 通学等の利便性
- ⑦ その他



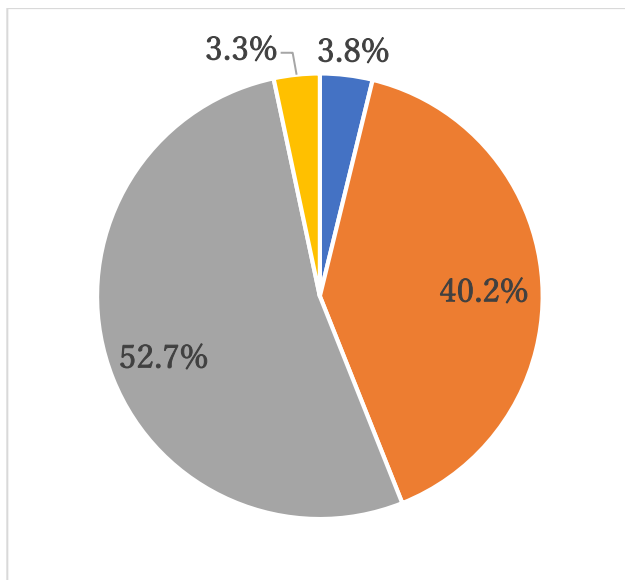
その他の内訳

仕事や家庭との両立	11
指導教員	3
時間	2
内容	1
生活維持	1
保険点数が請求できること	1
未回答	1

8-a. 大阪河崎リハビリテーション大学大学院認知リハビリテーション科学専攻（修士）が開設されるとし

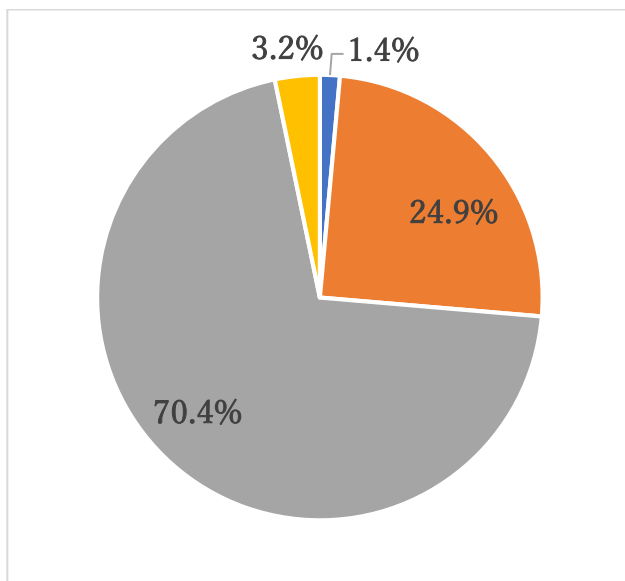
たら、興味・関心は ありますか？

■ ① 大いにある	24	3.8%
■ ② ある	253	40.2%
■ ③ ない	332	52.7%
■ 未回答	21	3.3%
計	630	



9-a. 問 8 で①および②を選ばれた方への質問です。

■ ① ぜひ進学したい	4	1.4%
■ ② 進学したい	69	24.9%
■ ③ 進学は考えていない	195	70.4%
■ 未回答	9	3.2%
計	277	

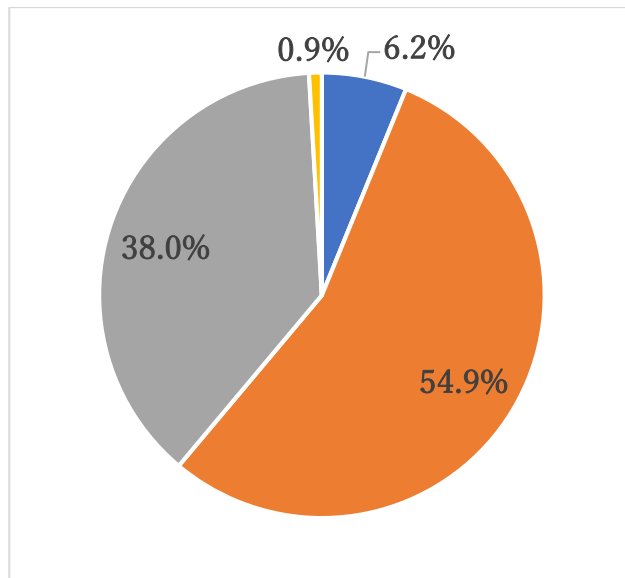


【進学希望者（設問5で①～④と回答した者）のみ抽出】

8-b. 大阪河崎リハビリテーション大学大学院認知リハビリテーション科学専攻（修士）が開設されるとし

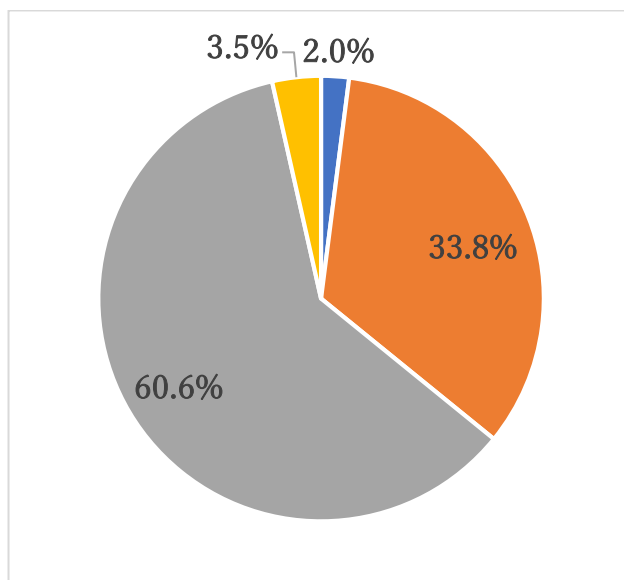
たら、興味・関心は ありますか？

■ ① 大いにある	20	6.2%
■ ② ある	178	54.9%
■ ③ ない	123	38.0%
■ 未回答	3	0.9%
計	324	



9-b. 問 8 で①および②を選ばれた方への質問です。

■ ① ぜひ進学したい	4	2.0%
■ ② 進学したい	67	33.8%
■ ③ 進学は考えていない	120	60.6%
■ 未回答	7	3.5%
計	198	



10. その他、自由に記載してください。

- ・大学院には以前から興味はあるが、貴大学院は自分が移住している地域からの交通が不便であるため通学は厳しいと思われます。通う頻度が少なければ候補にはあがってくると思います。自分にとって仕事との両立は絶対条件となります。
- ・私の場合、学費や交通の便から進学は考えていませんが、認知症に関する講義は需要が高くなっていくと思うので興味深いとは思っています。
- ・進学はしたいが経済的に難しい
- ・大学院のシステムはよくわかりませんが、通う人が知り合いでいるので気になっています。
- ・運動器系の学部があれば検討してみたい
- ・指導内容や今後の展望など、細かな事が分かれば前向きに考えられると思います
- ・仕事の両立と学費が大きな問題です。子どもが3人いると自分にお金を費やせない
- ・国公立大学院以外では学費・知名度などで魅力を感じません
- ・修士課程修了済みです
- ・今のところ進学は考えていないが、勤務との調整がつけば考えたい
- ・超高齢社会となり患者様がどんどん高齢になっています。働く私たちも息の長い経験と年齢を重ねたことが強みになるような、60歳を超えても活躍できる職場環境や認識がなされるといいなと思います。
- ・現在は進学については考えていませんが、考え方が変われば可能性はあると思います
- ・仕事と学業を両立させるためには、アクセスが重要と考えます
- ・専門士でも大学院への進学は可能でしょうか。先に大学卒業の資格をとる必要があるでしょうか
- ・就職したばかりで経験年数もないため、両立ができることが前提となります。また個人的な理由により、学費を懸念しているため現実的には難しいと考えます
- ・現状の生活の中、大学院へ行くことは難しく思っていますが、大学院でどのようなことを学び、仕事の待遇などにどのように影響するのか興味があります。
- ・貴校OBの者です。このような取り組み非常に嬉しく思います。就業しながらの通学（時間割など）について不安があるので、機会がありましたら詳細について情報提示お待ちしております。
- ・時間的制約を考えると難しい部分がでてきます。身近なものとして考えることができない状況です。
- ・学べる環境があるのであれば、学ばせて欲しい。ただ、家庭との両立が重要と考えるので、そのあたりをしっかりと教えてもらいたいです。
- ・関西圏の大学院でSTがいける所の一覧などがあれば探すのに便利だと感じています。関西にはSTに特化した大学院が少ないため、STの一部分をカバーする大学院は色々ありますが専門が少ないため。
- ・就職後の貯金を考慮するとすぐに大学院へは行きにくく、両立のための環境があれば進学をしたいと考えます。
- ・今のところ進学は考えていないが、機会があれば（自分の時間・お金など都合つけば）また内容によって進学等も考えたい。
- ・現在、大阪河崎リハビリテーション大学の教員で研究活動を行っている方はいますか。そのような方がいないのであれば、教職員を刷新する必要があると思います。何故この時期に、大学院を開設するのか。そのような責を担うのは、貴大学である必要があるのか、甚だ疑問です。
- ・個人的に学業と現在の仕事との両立は困難なので進学という選択はないですが、関心のある専攻内容でかつ業務に支障のない程度の学業であれば選択肢に入るかもしれないです
- ・大学院に興味があるが、仕事と家庭と勉強の3つは難しいだろうなと思います
- ・通信制の大学院であれば興味あり
- ・医療現場と研究機関が協力できる環境が整って高度な知識・技術が患者さんに提供できれば良いことだと思います
- ・どのような方向性となるのでしょうか？
- ・現状況、社会人から進学する事でのメリットを詳しく知りたい、内容次第
- ・すぐ進学したいかと問われると課題は多いと考えます
- ・認知リハビリテーション科学という分野の詳細がはっきりとわからないので、現段階では関心があるともないとも言えないです
- ・認知リハビリテーションという学科専攻はリハビリに大きく関係しており興味深く感じた。
- ・7の重視することが満足いくものであればぜひ進学したいのですが、やはり仕事と両立できるかどうか気になるところです。開設される際は内容の詳細を早めに詳しく知りたいです。
- ・状況によっては進学したい

- ・他県の為、通学できないのですみません。
- ・ST になったのが遅くすでに 40 歳を超えています。いまから大学院へという気持ちはなかなか起こりにくいです
- ・時間や体力を考えると、進学という選択は今は想像できません
- ・難易度が高いですね
- ・子供がいる女性にも通いやすいような、web 授業や通信などを利用できるとよいと思います。少し場所が離れているので、サテライトがあるとよい。
- ・進学については、研究の内容による。
- ・まだ年数が浅く、自分が何を研究したい等は全く見えませんが、時間の問題（授業に間に合うか）等がクリアできたら、行ってみたいなど考えたことはあります。
- ・今までどのような研究の実績があるのか知りたい。そこに興味が持てたら進学を考えたい。
- ・専門学校卒でも修士取れるのですか？
- ・学位を取得してもなかなか給与の反映に繋がりにくい。
- ・大学院で学びたい気持ちはありますが、現在の状況（家庭など）では難しいところです。
- ・大学院進学には学士の資格が必要ではないですか？短大や専門学校の卒業資格で進学が可能となるのですか？
- ・家が遠いので、通学が難しいのが残念です。
- ・研究を続けたいが院へ進学するイメージの為、臨床へ出た人が再度入学するのは狭き門のイメージです
- ・もし開設されるのであれば、ぜひ話をうかがってみたいと思いました。
- ・詳細の分かる資料があれば拝見してみたいと思います。特に受験資格や受験内容が気になります。
- ・関心はありますが、仕事と両立できるかを考え検討します。
- ・働きながら通うことができるか？学費はいくらかかるか？どのような内容なのか？が重要であると思います。個人的には、リハビリ機器の開発など工学的な知識をつけたい。
- ・あらたに保険点数が請求できなければ意味がなく必要性に欠ける。
- ・和歌山から通うとすると車を持っていないので、電車になります、バスがあるとして、最寄りからバスが定時にしか出ないと、やはり遅れた場合などに通えない。バスがそもそもなければ、それこそ通えないです。別キャンパス（どこかの会議室とか）ならと思いました。
- ・現在は育児や家事にて進学は考えられないが、大学院の制度があれば視野が広がるのですすめて欲しい。
- ・博士課程も今後検討していただければ幸いです。
- ・内部障害の学科を開設して頂けると通学しやすいのでお願いします。
- ・自分の仕事と現在の生活を考えた上で、選択し、進学を考えたい
- ・河崎リハビリテーション大学の将来に、大学院設置が必要ではないと思う。日頃の教育水準と大学入学の偏差値をあげることに、まず取り組んでいただきたい。大学の地元で生まれ育った卒業生として申し上げます。

大河大第 6 号
令和元年 10 月 8 日

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士 各位

大阪河崎リハビリテーション大学
学長 亀井一郎
大学院設置準備委員会委員長
武田雅俊
(公印省略)

大阪河崎リハビリテーション大学大学院研究科認知リハビリテーション科学専攻設置
に向けての アンケートについて (ご依頼)

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より本学の教育活動における実習生の受入、就職活動に格別なご支援ご高配を賜り
厚く御礼申し上げます。

さて、現代の健康・医療分野の高度な社会システムの構築や産業構造に対して、理学療法、
作業療法、及び、言語聴覚療法に関するより高度な専門職業人を養成するため、本学では医
療保健学部の理学療法学専攻、作業療法学専攻、言語聴覚学専攻を基礎とした大学院研究科
認知リハビリテーション科学専攻の設置に向け、現在準備しているところであります。

つきましては、大変お忙しいところ誠に申し訳ありませんが、設置の趣旨をご理解いた
だき、別紙「アンケート」にご協力くださるようよろしくお願い申し上げます。

なお、「アンケート」につきましては、返信用封筒に入れ、11月29日(金)までにご返
送くださるよう併せてお願いいたします。

謹白

大学院進学需要に関するアンケート調査 ①-A

(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士へのアンケート)

1. 性別について ① 男 ② 女
2. 資格について ① 理学療法士 ② 作業療法士 ③ 言語聴覚士
3. 経験年数について ① 4年未満 ② 4年以上～10年以内 ③ 10年以上
4. 出身学校について ① 専門学校 ② 大学 ③ 大学院修士課程 ④ 大学院博士課程

1. 社会人を対象とする大学院（修士課程・大学は問わず）への進学希望はありますか？

- ① ぜひ進学したい ② 機会があれば進学したい ③ 必要を感じた場合には進学したい
- ④ 夜間や土日など仕事と勉学が両立できれば進学したい ⑤ 進学は考えていない

6. 設問5で①～④を選んだ方へ質問です。下記より理由を選んでください。(複数回答可)

- ① 研究に取り組み、専門性を深めたいから ② 高度専門職業人として知識・技術を身につけたいから
- ③ 研究機関などでの研究職に就きたいから ④ 大学等の教員になりたいから
- ⑤ その他への就職に有利になるから ⑥ 学位(修士号)が欲しいから ⑦ 周りに勧められたから
- ⑧ その他

7. 大学院に進学する場合、重視することは何ですか？(複数回答可)

- ① 研究・指導内容 ② 学費 ③ 奨学金制度 ④ 資格 ⑤ 施設・環境
- ⑥ 通学等の利便性 ⑦ その他 ()

8. 河崎リハビリテーション大学大学院認知リハビリテーション科学専攻(修士)が開設されるとしたら、興味・関心はありますか？ ① 大いにある ② ある ③ ない

9. 問8で①および②を選ばれた方への質問です。

- ① ぜひ進学したい ② 進学したい ③ 進学は考えていない

10 その他、自由に記載してください。

以上です。ご協力ありがとうございました。

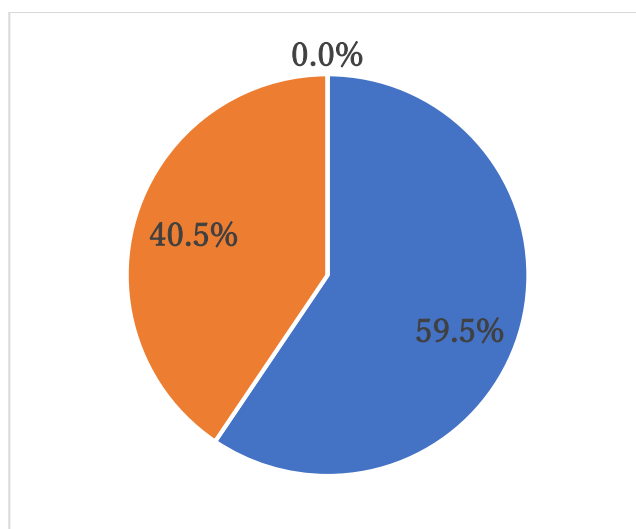
大学院アンケート①-B 集計結果

対象者	2019年度 本学卒業生 (理学療法学専攻、作業療法学専攻、言語聴覚学専攻)
調査期間	2020年3月
調査方法	学生に配布・回収
回答者数	74人(98人に配布)回収率75.5%

【アンケート結果】

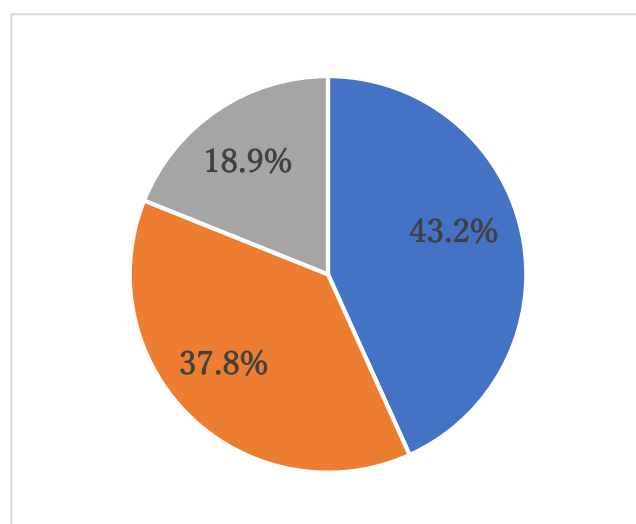
1. 性別

■ ① 男	44	59.5%
■ ② 女	30	40.5%
■ 未回答	0	0.0%
計	74	



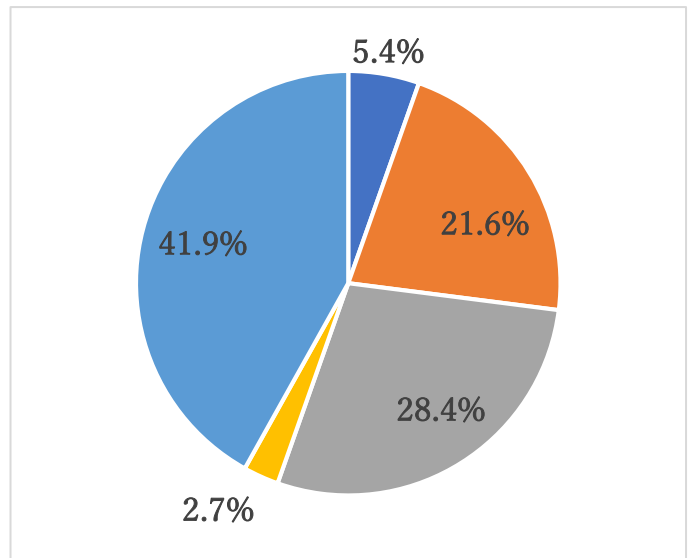
2. 専攻について

■ ① 理学	32	43.2%
■ ② 作業	28	37.8%
■ ③ 言語	14	18.9%
■ 未回答	0	0.0%
計	74	



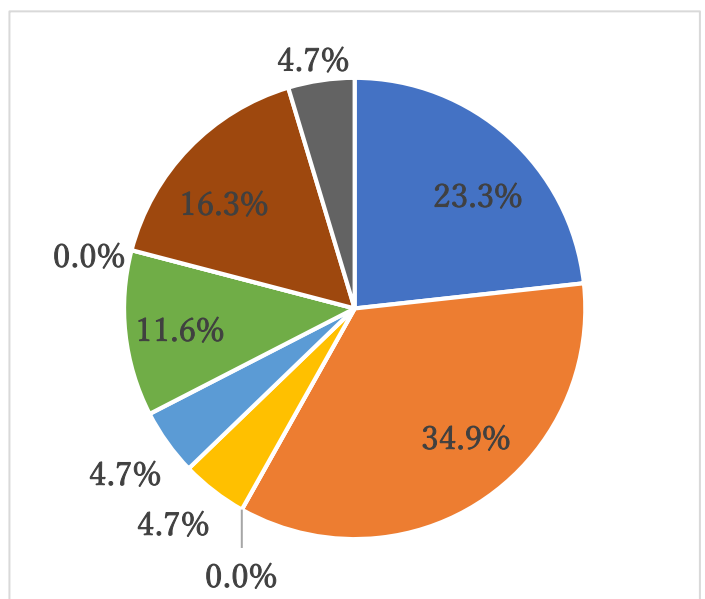
3. 社会人を対象とする大学院（修士課程・大学は問わず）への進学希望はありますか？

■ ① ぜひ進学したい	4	5.4%
■ ② 機会があれば進学したい	16	21.6%
■ ③ 必要を感じた場合には進学したい	21	28.4%
■ ④ 夜間や土日など仕事と勉学が両立できれば進学したい	2	2.7%
■ ⑤ 進学は考えていない	31	41.9%
計	74	



4. 設問 3 で①～④を選んだ方への質問です。下記より理由を選んでください。

■ ① 研究に取り組み、専門性を深めたいから	10	23.3%
■ ② 高度専門職業人として知識・技術を身につけたいから	15	34.9%
■ ③ 研究機関などでの研究職に就きたいから	0	0.0%
■ ④ 大学等の教員になりたいから	2	4.7%
■ ⑤ 就職に有利になるから	2	4.7%
■ ⑥ 学位（修士号）が欲しいから	5	11.6%
■ ⑦ 周りに勧められたから	0	0.0%
■ ⑧ その他	7	16.3%
■ 未回答	2	4.7%
計	43	

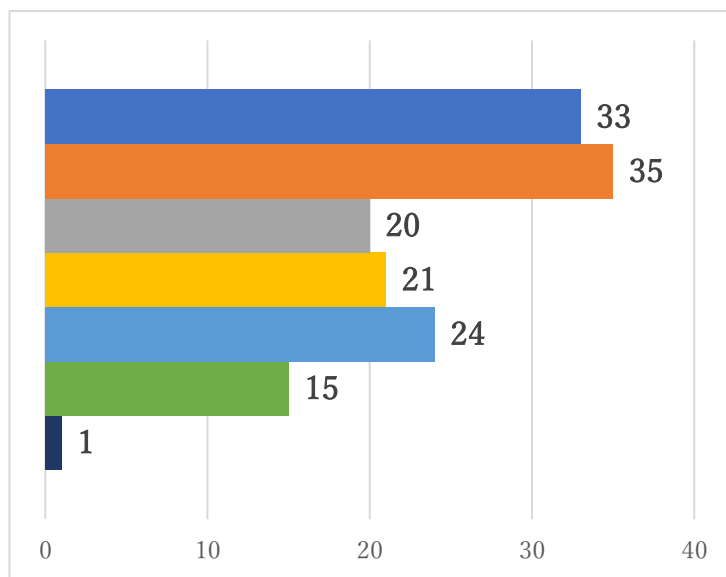


その他の内訳

スキルアップや必要な知識を学ぶ必要があると感じる場合	1
未回答	6

5. 大学院に進学する場合、重視することは何ですか？（複数回答可）

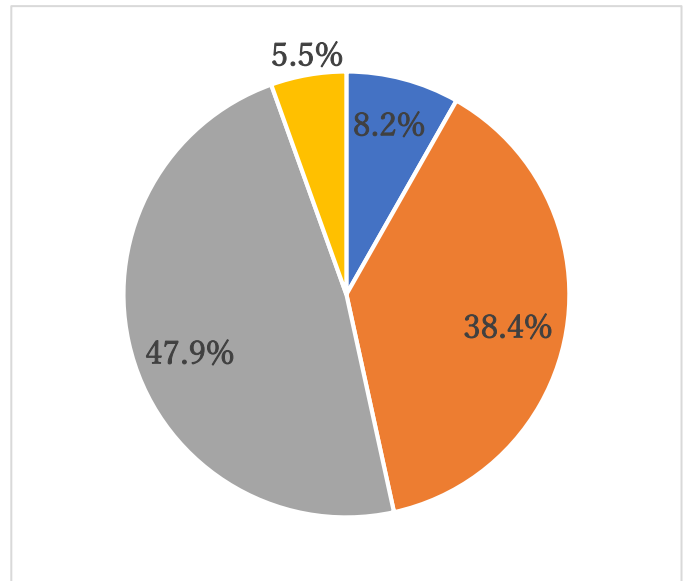
- ① 研究・指導内容
- ② 学費
- ③ 奨学金制度
- ④ 資格
- ⑤ 施設・環境
- ⑥ 通学等の利便性
- ⑦ その他



6-a. 大阪河崎リハビリテーション大学大学院認知リハビリテーション科学専攻（修士）が開設されるとし

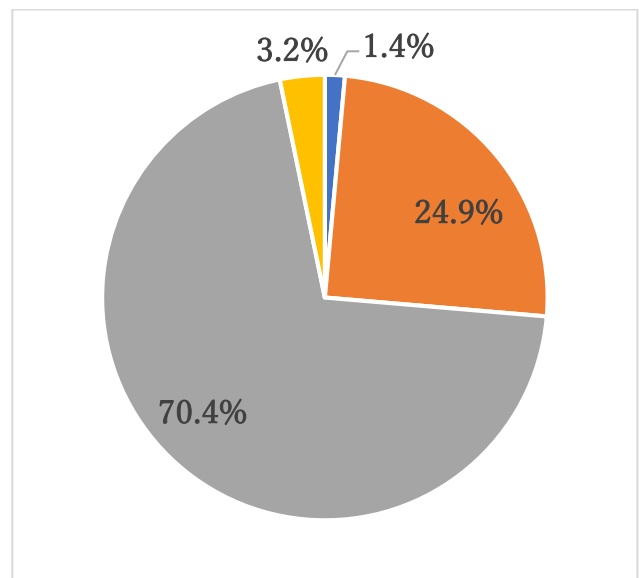
たら、興味・関心は ありますか？

■ ① 大いにある	6	8.2%
■ ② ある	28	38.4%
■ ③ ない	35	47.9%
■ 未回答	4	5.5%
計	73	



7-a. 設問 6 で①および②を選ばれた方への質問です。

■ ① ぜひ進学したい	3	8.8%
■ ② 進学したい	14	41.2%
■ ③ 進学は考えていない	16	47.1%
■ 未回答	1	2.9%
計	34	

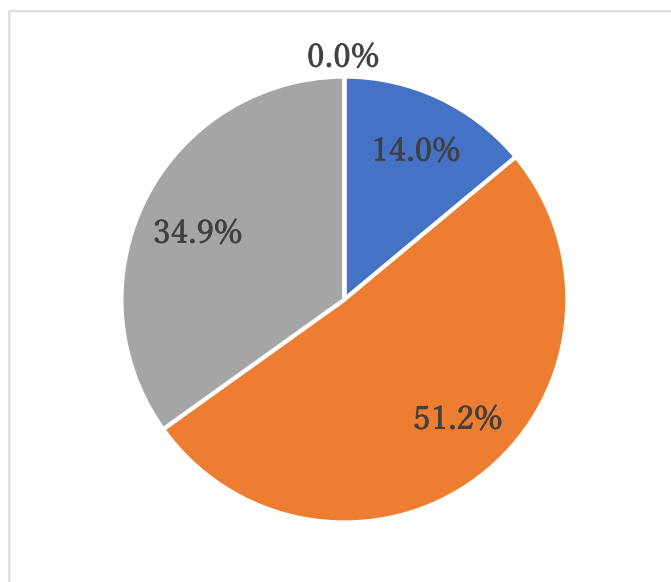


【進学希望者（設問3で①～④と回答した者）のみ抽出】

6-b. 大阪河崎リハビリテーション大学大学院認知リハビリテーション科学専攻（修士）が開設されるとし

たら、興味・関心は ありますか？

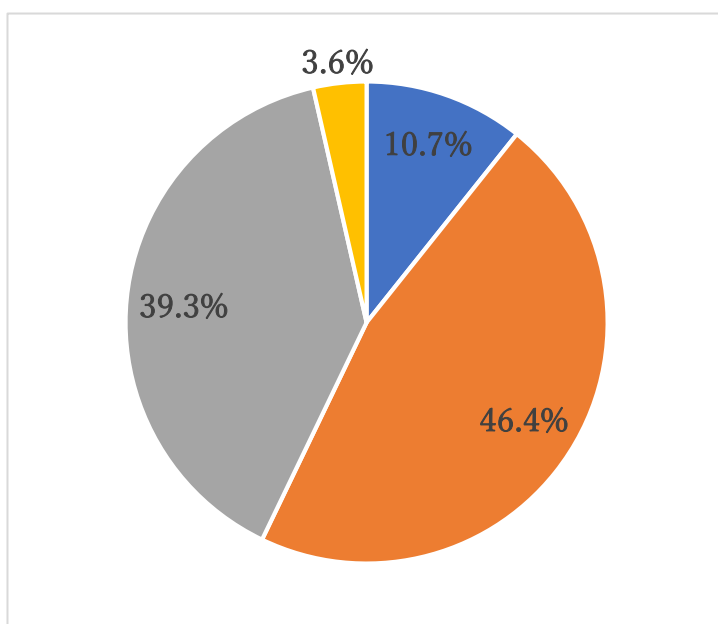
■ ① 大いにある	6	14.0%
■ ② ある	22	51.2%
■ ③ ない	15	34.9%
■ 未回答	0	0.0%
計	43	



7-b. 設問 6 で①および②を選ばれた方への質問です。

【進学希望者（設問3で①～④と回答した者）のみ抽出】

■ ① ぜひ進学したい	3	10.7%
■ ② 進学したい	13	46.4%
■ ③ 進学は考えていない	11	39.3%
■ 未回答	1	3.6%
計	28	



8. その他、自由に記載してください。

- ・具体的なことを知らないので何とも言えない。
- ・レベルが高いと感じれば、ぜひ進学したい。
- ・がんばって下さい。
- ・慣れた空気・空間で学びやすそう。
- ・現在取り組まれている”つげさん元気アップ教室”を継続し、地域との連携を深められるような活動ができる学科の設置を検討してほしいです。
- ・教員を目指すには必要であるから

令和元年 8 月 1 日

大阪河崎リハビリテーション大学卒業生 各位

大阪河崎リハビリテーション大学

学長 亀井一郎

大学院設置準備委員会委員長

武田雅俊

大阪河崎リハビリテーション大学大学院研究科認知リハビリテーション科学専攻設置
に向けての アンケートについて（ご依頼）

本学では、理学療法、作業療法、及び、言語聴覚療法に関するより高度な専門職業人を
養成するため、医療保健学部の理学療法学専攻、作業療法学専攻、言語聴覚学専攻を基礎と
した大学院研究科認知リハビリテーション科学専攻の設置に向け、現在準備しているところ
であります。

つきましては、設置の申請にあたり、お忙しいところ誠に申し訳ありませんが、別紙「ア
ンケート」にご協力くださるようよろしくお願いいたします。

大学院進学需要に関するアンケート調査①-B (本学卒業生へのアンケート)

1. 性別について ① 男 ② 女
2. 資格について ① 理学療法士 ② 作業療法士 ③ 言語聴覚士
3. 経験年数について ① 4年未満 ② 4年以上～10年以内 ③ 10年以上
4. 本学卒業後に、さらに大学院などに進学しましたか ① はい ② いいえ

5. 社会人を対象とする大学院(修士課程・大学は問わず)への進学希望はありますか? ① ぜひ進学したい ② 機会があれば進学したい ③ 必要を感じた場合には進学したい ④ 夜間や土日など仕事と勉学が両立できれば進学したい ⑤ 進学は考えていない

6. 設問 5 で①～④を選んだ方への質問です。下記より理由を選んでください。

- ① 研究に取り組み、専門性を深めたいから
- ② 高度専門職業人として知識・技術を身につけたいから
- ③ 研究機関などでの研究職に就きたいから
- ④ 大学等の教員になりたいから
- ⑤ 就職に有利になるから
- ⑥ 学位(修士号)が欲しいから
- ⑦ 周りに勧められたから
- ⑧ その他

7. 大学院に進学する場合、重視することは何ですか? (複数回答可)

- ① 研究・指導内容
- ② 学費
- ③ 奨学金制度
- ④ 資格
- ⑤ 施設・環境
- ⑥ 通学等の利便性
- ⑦ その他 ()

8. 大阪河崎リハビリテーション大学大学院認知リハビリテーション科学専攻(修士)が開設されるとしたら、興味・関心はありますか? ① 大いにある ② ある ③ ない

9. 設問 8 で①および②を選ばれた方への質問です。

- ① ぜひ進学したい
- ② 進学したい
- ③ 進学は考えていない

10. その他、自由に記載してください。

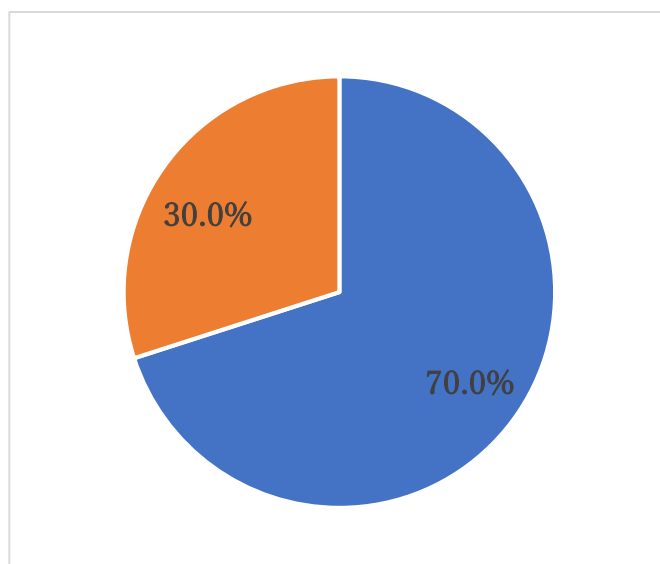
以上です。ご協力ありがとうございました。

対象者	2019年度在學生（1～3年生） （理学療法学専攻、作業療法学専攻、言語聴覚学専攻）
調査期間	2020年2月～3月（新型コロナウイルスの影響により、言語聴覚学専攻については、2021年10月～11月に実施）
調査方法	学生に配布・回収
回答者数	276名（332名に配布）回収率83.1%

【アンケート結果】

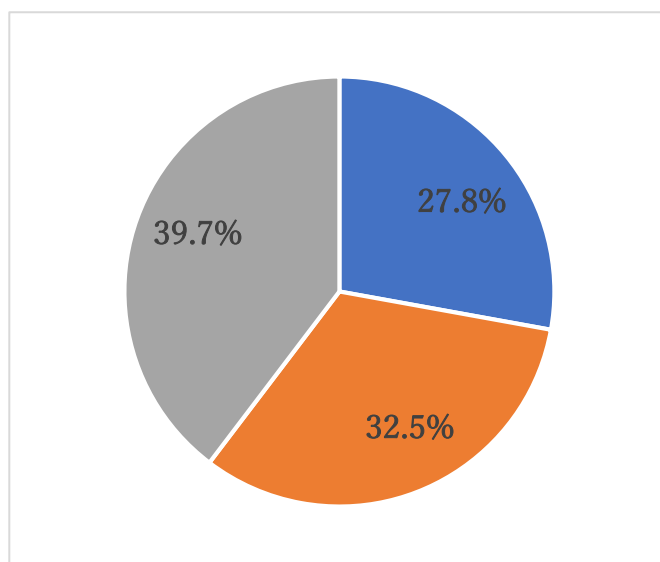
1. 性別

■ ① 男	176	63.8%
■ ② 女	100	36.2%
計	276	



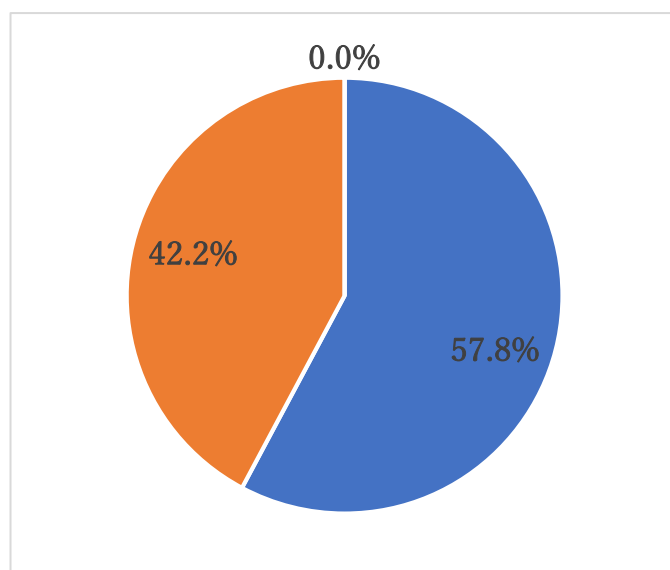
2. 学年について

■ ① 1年	74	26.8%
■ ② 2年	95	34.4%
■ ③ 3年	107	38.8%
計	276	



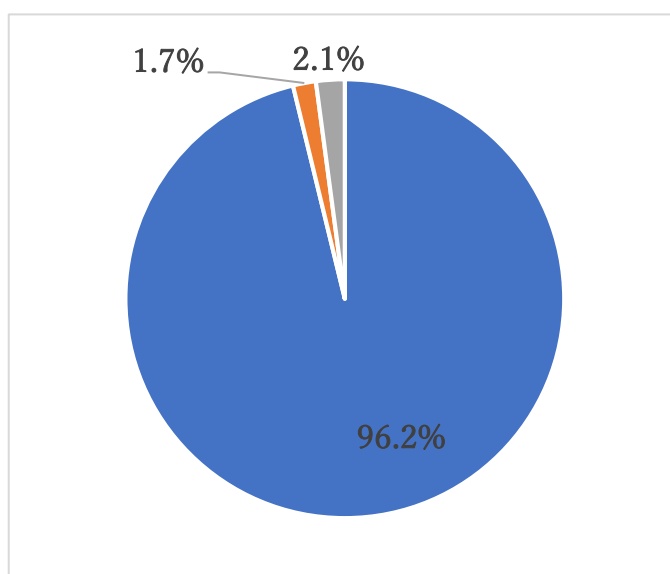
3. 専攻について

■ ① 理学	136	49.3%
■ ② 作業	101	36.6%
■ ③ 言語	39	14.1%
計	276	



4. 設問 3 で①～④を選んだ方への質問です。下記より理由を選んでください。

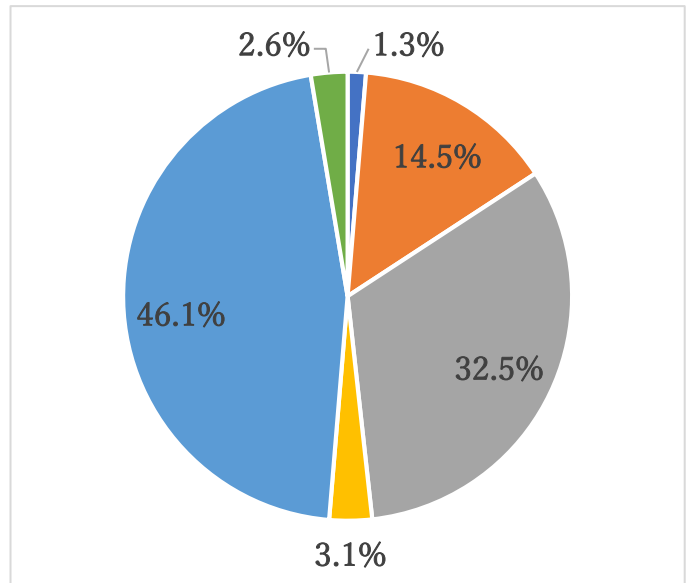
■ ① 就職を希望する	267	96.7%
■ ② 大学院進学を希望する	4	1.4%
■ ③ その他	5	1.8%
計	276	



5. 設問 4 で「就職を希望する」を選んだ方への質問です。 将来、社会人を対象とした大学院への進学希

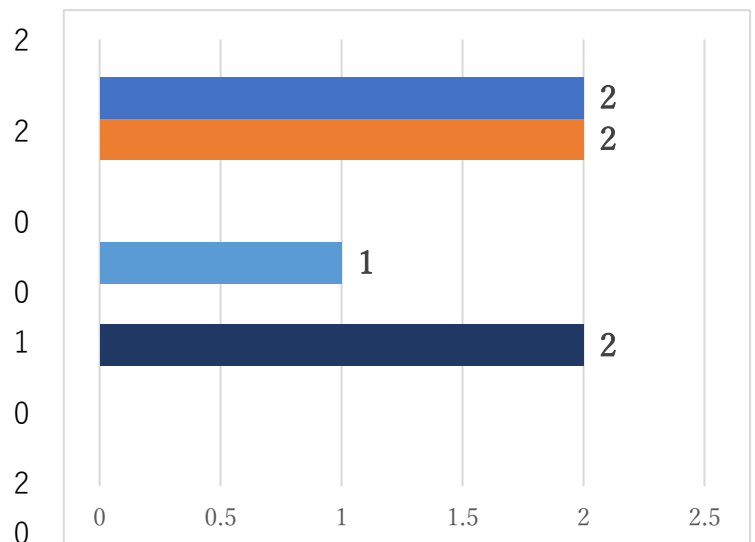
望はありますか？

■ ① ぜひ進学したい	5	1.9%
■ ② 機会があれば進学したい	35	13.1%
■ ③ 社会に出て必要を感じた場合には進学したい	89	33.3%
■ ④ 夜間や土日など仕事と勉強が両立できれば進学を考える	11	4.1%
■ ⑤ 進学は考えていない	119	44.6%
■ 未回答	8	3.0%
計	267	



6. 設問 4 で「大学院を希望する」を選んだ方への質問です。 下記より理由を選んでください（複数回答可）。

- ① 研究に取り組み、専門性を深めたいから
 - ② 高度専門職業人として知識・技術を身につけたいから
 - ③ 研究機関などでの研究職に就きたいから
 - ④ 大学等の教員になりたいから
 - ⑤ 就職に有利になるから
 - ⑥ 学部卒業後に就きたいと思う職業が明確でないから
 - ⑦ 学位（修士号）が欲しいから
 - ⑧ 周りに勧められたから
 - ⑨ その他
- 計 7



7. 大学院に進学する場合、重視することは何ですか？（複数回答可）

■ ① 研究・指導内容

■ ② 学費

■ ③ 奨学金制度

■ ④ 資格

■ ⑤ 施設・環境

■ ⑥ 通学等の利便性

■ ⑦ その他

計

109

167

59

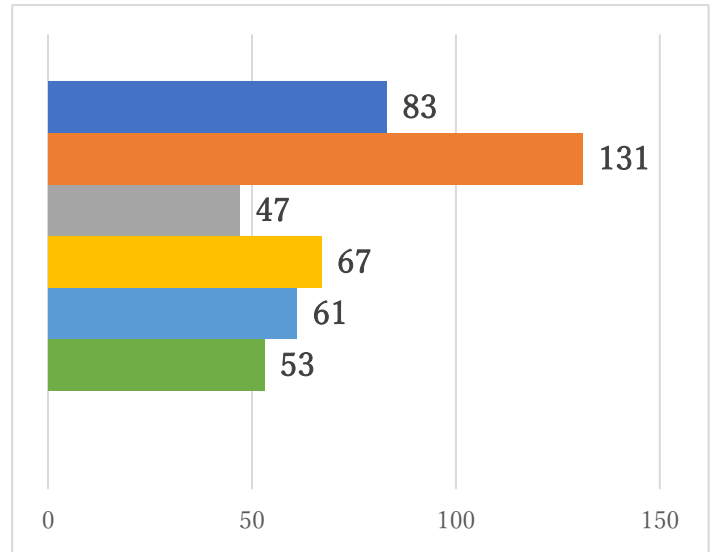
81

79

67

0

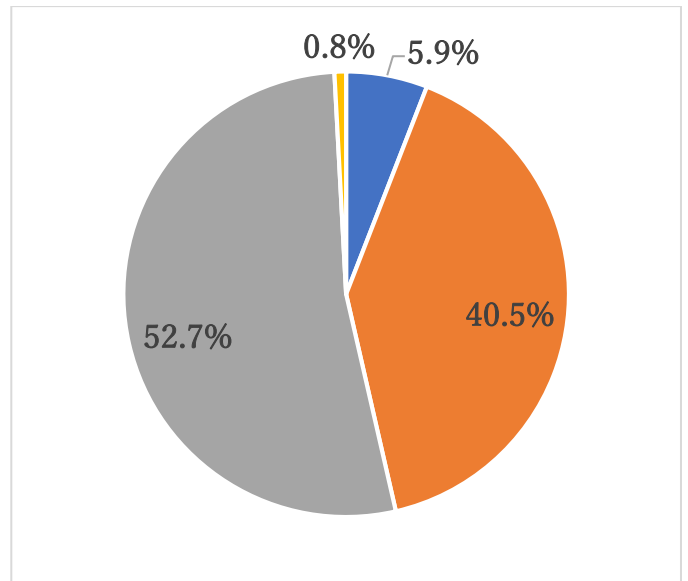
562



8-a. 大阪河崎リハビリテーション大学大学院認知リハビリテーション科学専攻（修士）が開設されるとし

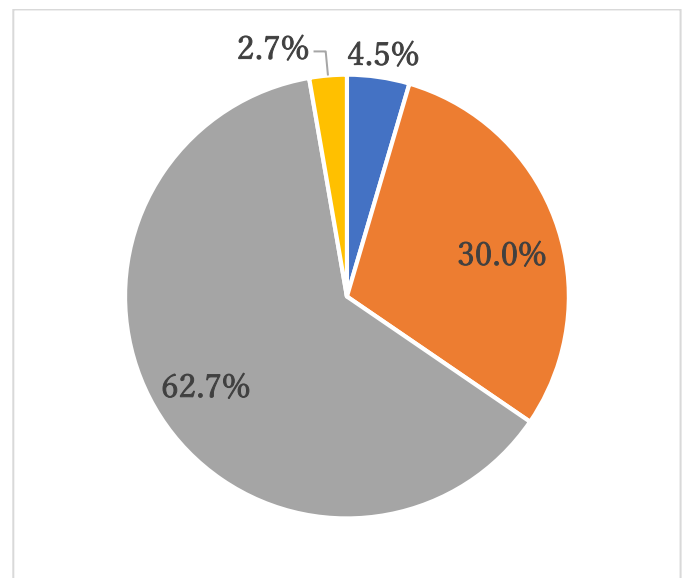
たら、興味・関心は ありますか？

■ ① 大いにある	18	6.5%
■ ② ある	111	40.2%
■ ③ ない	145	52.5%
■ 未回答	2	0.7%
計	276	



9-a. 設問 8 で①および②を選ばれた方への質問です。

■ ① ぜひ進学したい	6	4.7%
■ ② 進学したい	38	29.5%
■ ③ 進学は考えていない	81	62.8%
■ 未回答	4	3.1%
計	129	

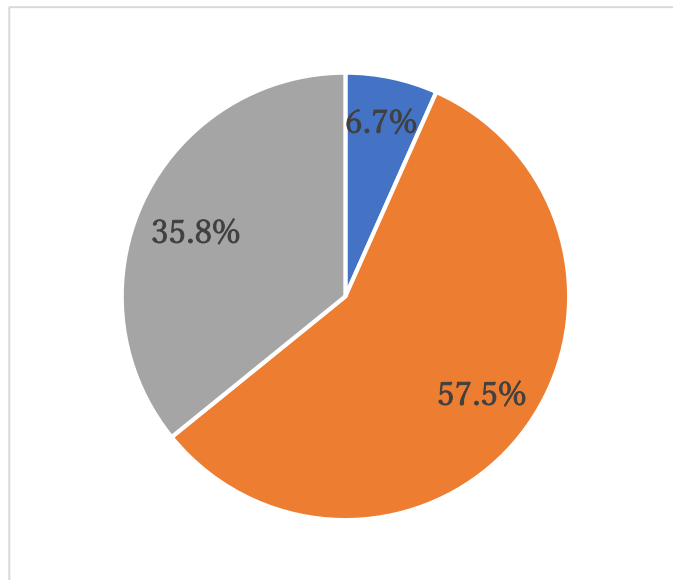


【進学希望者（設問4で②と回答した者及び設問5で①～④と回答した者）のみ抽出】

8-b. 大阪河崎リハビリテーション大学大学院認知リハビリテーション科学専攻（修士）が開設されるとし

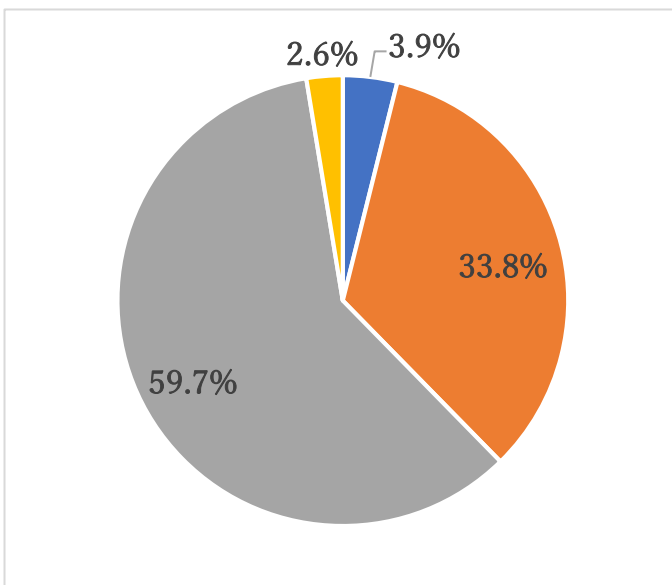
たら、興味・関心はありますか？

■ ① 大いにある	10	7.1%
■ ② ある	79	56.4%
■ ③ ない	51	36.4%
計	140	



9-b. 設問8で①および②を選ばれた方への質問です。

■ ① ぜひ進学したい	2	2.2%
■ ② 進学したい	29	32.6%
■ ③ 進学は考えていない	55	61.8%
■ 未回答	3	3.4%
計	89	



10. その他、自由に記載してください。

- ・イメージがつかない。
- ・大学院については私自身もメリットなどについて認知が浅いので大学院進学需要、情報などについて知る機会があったら考えられると思います。
- ・大学院を作るお金があるなら、まず大学のバスの本数を増やすのが優先では？
- ・バスの本数を増やしてほしいです。
- ・大学院は作らない方がいいと思います。
- ・学費が心配だから。

令和元年 8 月 1 日

大阪河崎リハビリテーション大学在学学生 各位

大阪河崎リハビリテーション大学
学長 亀井一郎
大学院設置準備委員会委員長
武田雅俊

大阪河崎リハビリテーション大学大学院研究科認知リハビリテーション科学専攻設置
に向けてのアンケートについて（ご依頼）

本学では、理学療法、作業療法、及び、言語聴覚療法に関するより高度な専門職業人を
養成するため、医療保健学部の理学療法学専攻、作業療法学専攻、言語聴覚学専攻を基礎と
した大学院研究科認知リハビリテーション科学専攻の設置に向け、現在準備しているところ
であります。

つきましては、設置の申請にあたり、別紙「アンケート」にご協力くださるようよろしく
お願いします。

大学院進学需要に関するアンケート調査①-C（在学生へのアンケート）

1. 性別について ① 男 ② 女
2. 本学在学時の専攻について ① 理学 ② 作業 ③ 言語
3. 本学卒業後の進路についての質問です。
① 就職を希望する ② 大学院進学を希望する ③ その他

4. 設問 3 で「就職を希望する」を選んだ方への質問です。将来、社会人を対象とした大学院への進学希望はありますか？
① ぜひ進学したい ② 機会があれば進学したい ③ 社会に出て必要を感じた場合には進学したい ④ 夜間や土日など仕事と勉学を両立できれば進学を考える
⑤ 進学は考えていない

5. 設問 3 で「大学院を希望する」を選んだ方への質問です。下記より理由を選んでください（複数回答可）。
① 研究に取り組み、専門性を深めたいから ② 高度専門職業人として知識・技術を身につけたいから ③ 研究機関などでの研究職に就きたいから ④ 大学等の教員になりたいから ⑤ 就職に有利になるから ⑥ 学部卒業後に就きたいと思う職業が明確でないから ⑦ 学位（修士号）が欲しいから ⑧ 周りに勧められたから ⑨ その他

6. 大学院に進学する場合、重視することは何ですか？（複数回答可）
① 研究・指導内容 ② 学費 ③ 奨学金制度 ④ 資格 ⑤ 施設・環境
⑥ 通学等の利便性 ⑦ その他（ ）

7. 大阪河崎リハビリテーション大学大学院認知リハビリテーション科学専攻（修士）が開設されるとしたら、興味・関心はありますか？ ① 大いにある ② ある ③ ない

8. 設問 7 で①および②を選ばれた方への質問です。
① ぜひ進学したい ② 進学したい ③ 進学は考えていない

9. その他、自由に記載してください。

以上です。ご協力ありがとうございました。

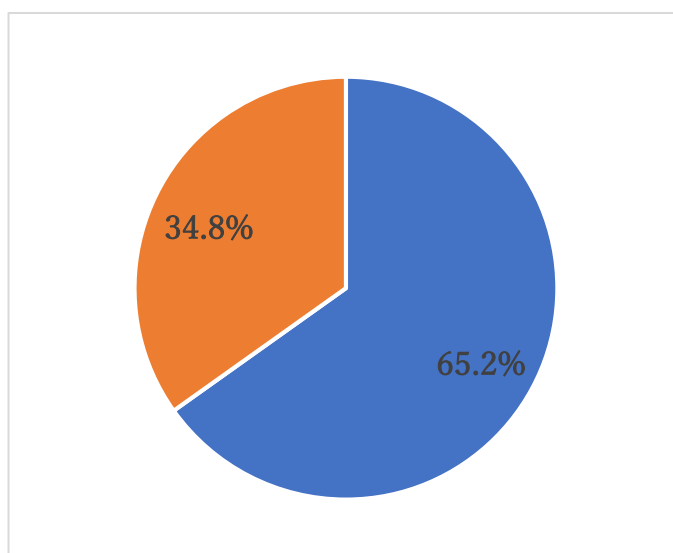
大学院アンケート CII 集計結果

対象者	2021年度在學生（1～4年生） （理学療法学専攻、作業療法学専攻、言語聴覚学専攻）
調査期間	2021年6月
調査方法	Webアンケート（Microsoft Forms を利用）
回答者数	287名（対象者416名）回収率69.0%

【アンケート結果】

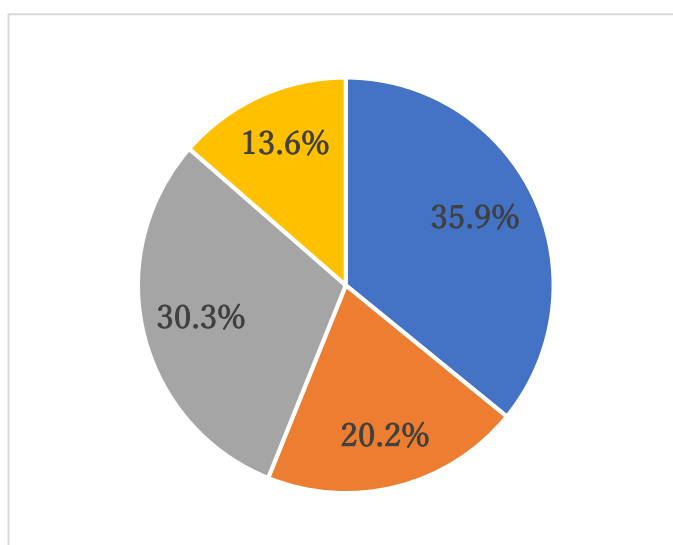
1. 性別

■ ① 男	187	65.2%
■ ② 女	100	34.8%
計	287	



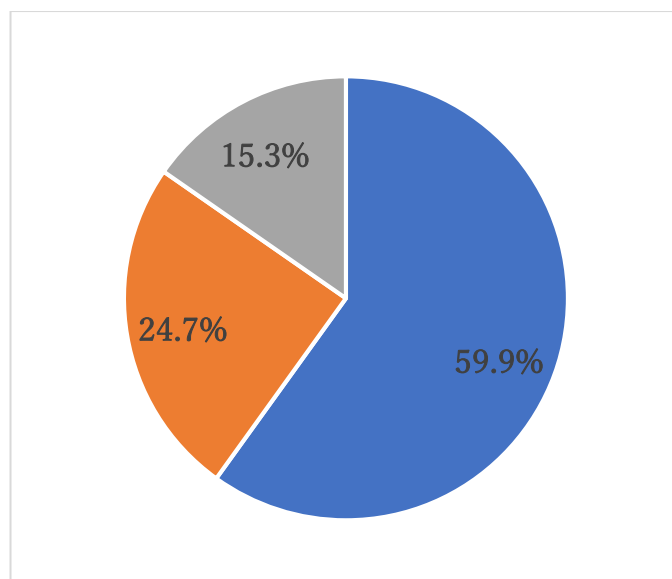
2. 学年について

■ ① 1年	103	35.9%
■ ② 2年	58	20.2%
■ ③ 3年	87	30.3%
■ ④ 4年	39	13.6%
計	287	



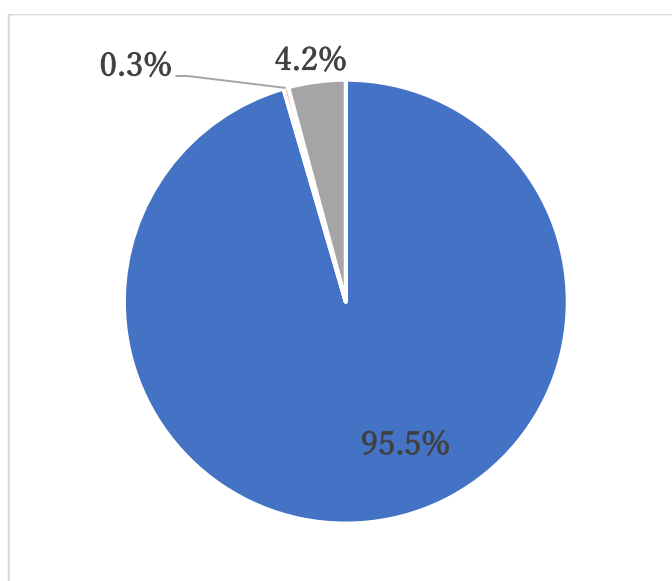
3. 専攻について

■ ① 理学	172	59.9%
■ ② 作業	71	24.7%
■ ③ 言語	44	15.3%
計	287	



4. 設問 3 で①～④を選んだ方への質問です。下記より理由を選んでください。

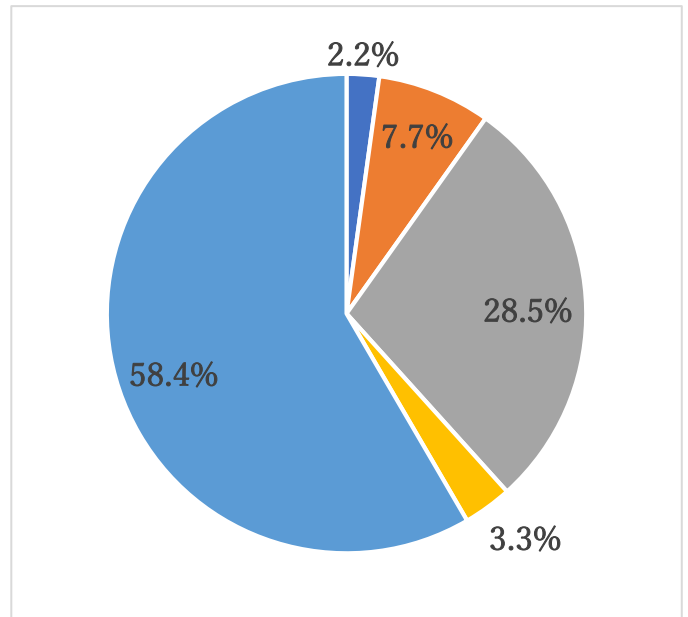
■ ① 就職を希望する	274	95.5%
■ ② 大学院進学を希望する	1	0.3%
■ ③ その他	12	4.2%
計	287	



5. 設問 4 で「就職を希望する」を選んだ方への質問です。 将来、社会人を対象とした大学院への進学希

望はありますか？

■ ① ぜひ進学したい	6	2.2%
■ ② 機会があれば進学したい	21	7.7%
■ ③ 社会に出て必要を感じた場合には進学したい	78	28.5%
■ ④ 夜間や土日など仕事と勉学が両立できれば進学を考える	9	3.3%
■ ⑤ 進学は考えていない	160	58.4%
計	274	

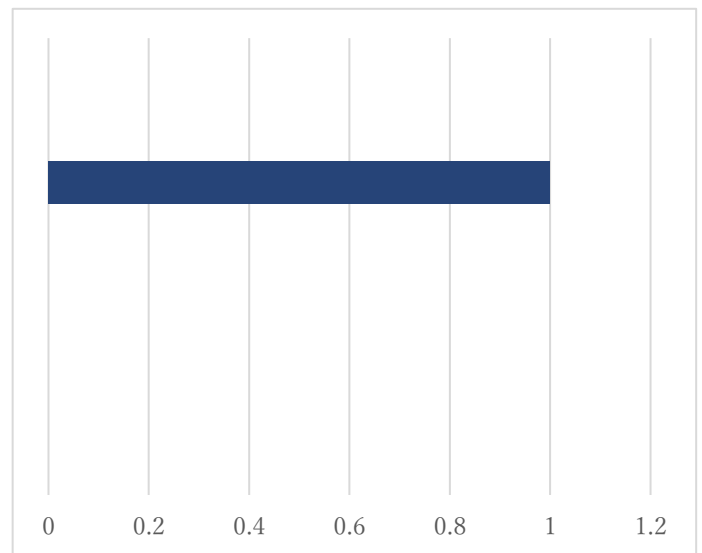


6. 設問 4 で「大学院を希望する」を選んだ方への質問です。 下記より理由を選んでください（複数回答

可）。

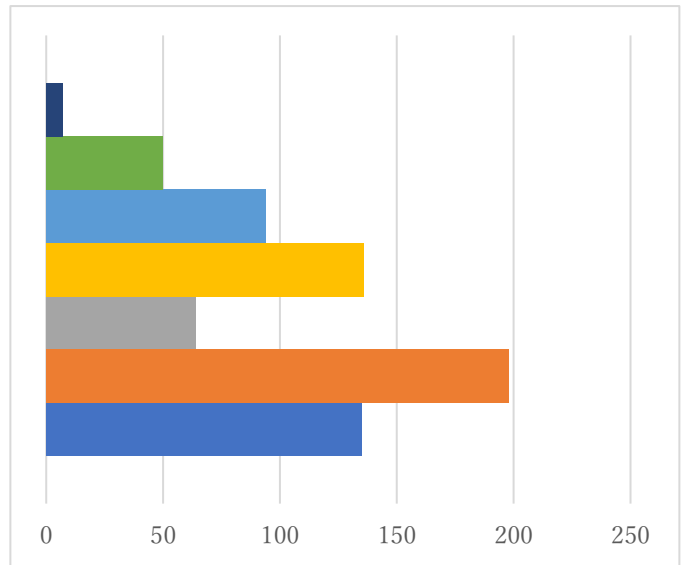
- ① 研究に取り組み、専門性を深めたいから
- ② 高度専門職業人として知識・技術を身につけたいから
- ③ 研究機関などでの研究職に就きたいから
- ④ 大学等の教員になりたいから
- ⑤ 就職に有利になるから
- ⑥ 学部卒業後に就きたいと思う職業が明確でないから
- ⑦ 学位（修士号）が欲しいから
- ⑧ 周りに勧められたから
- ⑨ その他

計 1



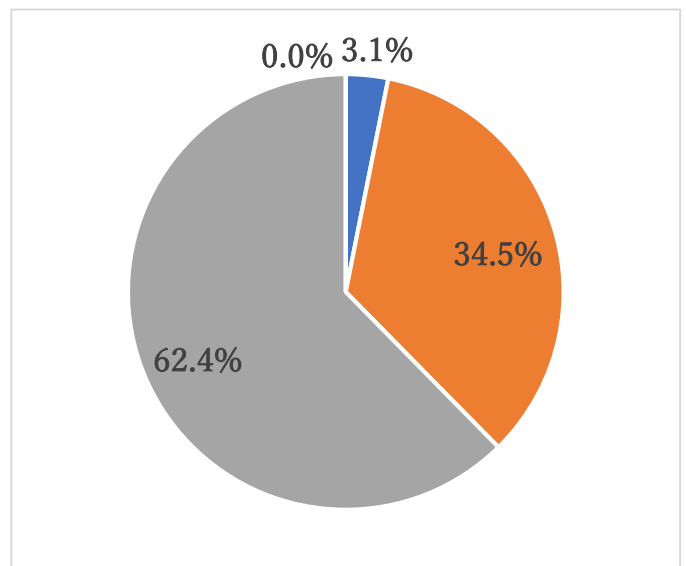
7. 大学院に進学する場合、重視することは何ですか？（複数回答可）

■ ① 研究・指導内容	135
■ ② 学費	198
■ ③ 奨学金制度	64
■ ④ 資格	136
■ ⑤ 施設・環境	94
■ ⑥ 通学等の利便性	50
■ ⑦ その他	7
計	684



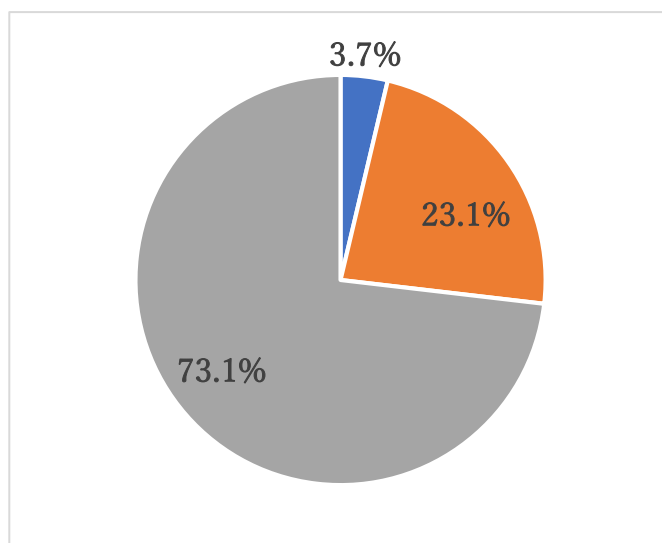
8. 大阪河崎リハビリテーション大学大学院認知リハビリテーション科学専攻（修士）が開設されるとしたら、興味・関心はありますか？

■ ① 大いにある	9	3.1%
■ ② ある	99	34.5%
■ ③ ない	179	62.4%
■ 未回答	0	0.0%
計	287	



9. 設問 8 で①および②を選ばれた方への質問です。

■ ① ぜひ進学したい	4	3.7%
■ ② 進学したい	25	23.1%
■ ③ 進学は考えていない	79	73.1%
計	108	



10. その他、自由に記載してください。

- ・大学院は考えていません！ 就職に行こうと思っています。
- ・通学時間が長い。
- ・実家からとなると遠いから。
- ・奨学金があるので就職希望です
- ・就職はしたいです
- ・勉強がついて行けないと感じた
- ・大学院で学べる範囲がどのようなものなのかが気になります
- ・大学院について考えてみようと思った
- ・今は就職を考えていますが、今後4年間を経て学びたいと思えば進学を視野にいれたいと思います。
- ・機会があれば進学してみたいです
- ・大学院について知れました
- ・大学院に行くメリットはありますか？
- ・大学ががんばります。
- ・行く気ないです
- ・ありがとうございました。
- ・大学院って何するですか。お金もらえますか。
- ・まだよく分からないからです
- ・よろしくをお願いします
- ・大学院と大学の違いを簡潔に知りたい
- ・大学院に進学したら大変そう
- ・大学院ではどのようなことを行われるのですか？
- ・社会に出て必要と感じれば進学したい感じです。
- ・留学について気になった
- ・正直あまり大学院がどおゆうものか分からない。
- ・大学院についていまち理解ができていない。
- ・大学院ができれば話だけでも聞きたいです
- ・大学院に進学するにあたり奨学金制度を利用できるか知りたいです
- ・お金の余裕がない為奨学金を借りている。これ以上お金はかけてられない
- ・まだ大学院について考えれていません。
- ・学費を払うことが難しく、大学院でどのようなことを行うのか具体的にわからないので大学院への進学は考えていません。
- ・大学院について、そもそもあまり理解できていない。
- ・正直、大学院に全く興味がないです。自分達へのプラスになることが無さすぎます
- ・就職したいです
- ・がんばります
- ・就職活動の説明会などは興味があります。
- ・大学院について調べておきます
- ・卒業できるように頑張ります
- ・大学院ではどのような勉強をするのか知りたい
- ・まだ、一階生なので大学院の事はこれから考えようと思っています。
- ・大学院が設立されるのは凄いことだと思う。
- ・頑張ります
- ・まだあんまり将来のことについて想像できていません。
- ・授業がわからない。
- ・私は大学院は反対です。
- ・よろしくをお願いします
- ・大学院への進学をあまり考えていないため

- ・今のところ大学院への進学については未定です。
- ・金銭面の問題から反対します
- ・就職しか考えていません。
- ・まだ、分からないことが多いから
- ・現時点では特に療法士の資格以外に就職する上で他の資格の必要性を考えていないので時間や学費、資格等を考慮しながら自身のスキルアップ等の目的で必要に応じて検討したい。
- ・大学院ができれば、色々なことができるし、もっと深く研究とかできると思うのでいいなと思います。
- ・学生でまだ現場に多く携わっていないので、まだ特に大学院への進学の必要性を感じれないため、現状は進学の意味はないです
- ・就職を希望しているので考えたことはないです。
- ・勉強頑張ります
- ・主に近場での就職を考えています。
- ・興味が無いから
- ・金銭的にこれ以上は迷惑をかけられない
- ・進学は考えていません。
- ・まずは就職を考えてます
- ・機会があれば行きたいと思います。
- ・頑張ってください。
- ・私は反対したいと思います。
- ・少しだけ興味があります。
- ・私は、作業療法を第一として考えているので気にはなりますが、進学しようとは考えていません。
- ・まだ大学院に行きたいと思っていないからです。
- ・就職を考えているので大学院は考えていません。
- ・興味ないです
- ・大学院がなにかよく分かりません
- ・就職するので考えていません。
- ・頑張ります
- ・社会に出て、必要だと感じた研究を集中して行えたらいいなと思います。
- ・興味が無いです
- ・お金をもっと別の使い方に回してください
- ・大学院は具体的に何をやるんですか
- ・まだ将来は分かりません
- ・就職一択
- ・学費は重要になると思います。
- ・学費のことが1番気になります
- ・今のところ特に大学院への進学は考えていません。
- ・大学院に興味はあります。
- ・今すぐ進学は考えていませんが興味はあります。
- ・院に興味はありますが、現在お借りしている奨学金の返済の目途が立たなければ厳しい状況です。

大阪河崎リハビリテーション大学大学院設置計画に関するアンケート調査

本学では、現在のリハビリテーション学部の教育内容を深化させた新たな大学院リハビリテーション学研究科（修士課程）の設置計画を進めております。

このアンケート調査は、在学生の皆様への大学院への進学希望についてお聞きし、大学院設置のための基礎資料とするものです。結果は、統計的に処理され、大学院設置申請資料としてのみ用いるものとし、個人にご迷惑をおかけすることは一切ございません。何卒、ご協力を宜しくお願い致します。

大学院設置計画

1. 名称 大阪河崎リハビリテーション大学大学院リハビリテーション学研究科
2. 開設時期 令和4(2022)年4月
3. 修業年限 2年
4. 専攻 リハビリテーション学専攻
5. 定員 入学定員8名/収容定員16名
6. 授与する学位 修士（リハビリテーション学）
7. 所在地 大阪府貝塚市水間158
8. 修了要件 2年以上在学し、32単位以上を修得し、修士論文審査に合格すること。
9. 学費 入学検定料：3万円

入学金：30万円

授業料：授業料 年60万円、教育充実費 年14万5千円

10. 応募条件 大学を卒業した者等

11. 設置の理念

リハビリテーション専門職は、リハビリテーションチームのキーパーソンとなり、患者および対象者の潜在能力を最大限に引き出し、機能回復や生活機能改善を図るための高度な臨床能力と、多職種専門家との連携調整能力が求められ、同時に患者や家族のニーズの多様性に柔軟に対応する卓越したコミュニケーション能力が求められるようになり、さらに地域住民への介入による疾患予防が求められるようになっている。このような状況を踏まえて、本学にリハビリテーション学研究科を設置して、地域のリーダーとして活躍できるリハビリテーション専門職を養成する。

12. 養成する人物像

リハビリテーション学分野における高度医療専門職として、予防リハビリテーションと地域リハビリテーションの発展に寄与することができる。

リハビリテーション学分野における幅広い学識と倫理観を有し、地域もしくは臨床の場で、チームリーダーとしての役割を果たすことができる。

教育・研究者として、修得した専門能力と研究能力を教育研究に活かし、リハビリテーション学の発展に寄与することができる。

13. 有職者に対する特別な配慮

- ・本学研究科では、有職のため、昼間だけでは学修が困難と予測される学生のために、大学院設置基準第14条の規定を適用して、平日のVI～VII時限（18：00～19：30）と土曜日I～V時限（09：00～17：50）の授業も行います。
- ・修業年限は2年のところ、有職者等には3年間で修了する長期履修制度を採用します。納付金

についても、2年間分を3年間で納める制度を考えています。

・学部の経済支援制度に準じた制度を大学院にも適用し、学費面での就学支援を積極的に行う予定です。また、本研究科の大学院生の経済的支援のために、本学と密接な協力関係にある医療グループの「河崎グループ奨学資金制度」を実施する予定です。

[参考] 大阪府下の同分野の大学院・研究科の名称

- ・大阪府立大学大学院 総合リハビリテーション学研究科
- ・大阪電気通信大学大学院 医療福祉工学研究科
- ・関西医療大学大学院 保健医療学研究科
- ・森ノ宮医療大学大学院 保健医療学研究科
- ・大阪保健医療大学大学院 保健医療学研究科

14. アンケート調査期間

令和3年6月7日(月)～13日(日)

* 必須

1. 性別について *

- 男
- 女

2. 学年について *

- 4年
- 3年
- 2年
- 1年

3. 専攻について *

- 理学
- 作業
- 言語

4. 本学卒業後の進路についての質問です。 *

- 就職を希望する
- 大学院進学を希望する
- その他

5. 設問 4で「就職を希望する」を選んだ方への質問です。 将来、社会人を対象とした大学院への進学希望はありますか？ *

- ぜひ進学したい
- 機会があれば進学したい
- 社会に出て必要を感じた場合には進学したい
- 夜間や土日など仕事と勉学を両立できれば進学を考える
- 進学は考えていない

6. 設問 4で「大学院を希望する」を選んだ方への質問です。 下記より理由を選んでください（複数回答可）。 *

- 研究に取り組み、専門性を深めたいから
- 高度専門職業人として知識・技術を身につけたいから
- 研究機関などでの研究職に就きたいから
- 大学等の教員になりたいから
- 就職に有利になるから
- 学部卒業後に就きたいと思う職業が明確でないから
- 学位（修士号）が欲しいから
- 周りに勧められたから
- その他

7. 大学院に進学する場合、重視することは何ですか？（複数回答可） *

研究・指導内容

学費

奨学金制度

資格

施設・環境

通学等の利便性

その他

8. 大阪河崎リハビリテーション大学大学院リハビリテーション研究科リハビリテーション学専攻（修士）が開設されるとしたら、興味・関心はありますか？ *

大いにある

ある

ない

9. 前の質問において興味・関心が「大いにある」、「ある」を選ばれた方への質問です。 *

ぜひ進学したい

進学したい

進学は考えていない

10. その他、自由に記載してください。 *

このコンテンツは Microsoft によって作成または承認されたものではありません。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。

 Microsoft Forms

大阪河崎リハビリテーション大学の経済支援制度一覧

大学ホームページの内容を抜粋
<https://www.kawasakigakuen.ac.jp/admissions/scholarship.html>

奨学金・特別奨学金

本学独自の特別奨学金制度

本学の特別奨学金制度は、成績優秀者の勉学を奨励するため、

授業料を免除または、特別奨学金を給付する制度で、卒業後返済の必要はありません。

免除特待生選抜

詳しくは以下をご確認ください。



給付特待生（在学生対象）

内容	各学年における学業成績が優秀でかつ、素行が他の模範となる学生に対し給付。
対象学年	在学生（2年次～4年次）
対象人員	各学年3名程度
金額	1年分の授業料の1/2以内を給付

給付指定校奨学金制度 A（新入生対象）

対象者	本学が指定する高等学校から学校推薦型選抜（指定校制）で受験し入学した者に対し給付。
金額	28 万円を給付（入学金相当）
対象人員	対象者全員
備考	<u>特待生選抜</u> （一般選抜 前期・中期、一般選抜共通テスト利用型 前期 対象）との併用が可能です。

給付指定校奨学金制度 B（新入生対象）

対象者	本学が指定する高等学校から、所定の条件を満たし入学した者に対し給付。 詳細は、各高等学校の進路指導部にお問い合わせください。
金額	14 万円を給付（入学金相当額の 1/2）
対象人員	対象者全員
備考	<u>特待生選抜</u> （一般選抜 前期・中期、一般選抜共通テスト利用型 前期 対象）との併用が可能です。

給付経済支援特別奨学金制度

内容	学業などが優秀でありながら、経済的理由により修学困難な学生に奨学援助として、 年額 20 万円を 10 名程度に給付する制度で、卒業後返済の必要はありません。
対象学年	全学年

対象人員	10 名程度
金額	年額 20 万円を給付

授与河崎賞

内容	在学中において学業が優秀でかつ素行が他の模範となった学生に対し、卒業時に河崎賞(1名～3名程度、総額 100 万円以内の給付)が授与されます。
対象学年	最終学年
対象人員	1～3 名程度
金額	給付額の合計を 100 万円以内

給付河崎学園ファミリー奨学金（新入生対象）

内容	学校法人河崎学園の卒業生・在校生の親族や河崎グループの教員・職員の親族を対象にした奨学金制度です。 入学金相当の 28 万円を給付する制度で、卒業後返済の必要はありません。
対象者	河崎グループ(※1)の教員及び職員の親族(3 親等以内) 学校法人河崎学園の在学生の親族(3 親等以内) 学校法人河崎学園の卒業生(※2)の親族(3 親等以内)
金額	28 万円を給付(入学金相当)
備考	特待生選抜 (一般選抜 前期・中期、一般選抜共通テスト利用型 前期 対象)との併用が可能です。

※1 学校法人河崎学園・医療法人河崎会・社会福祉法人建仁会・社会医療法人慈薫会・社会福祉法人慈生会

※2 大阪河崎リハビリテーション大学・河崎医療技術専門学校

病院奨学金

関連病院からの支援制度

本学学生（在学学生及び本学を受験し、合格後入学した者）を対象に、本学関連施設である水間病院および河崎病院が独自に金額や条件等を定め、病院独自の選考基準に基づき貸与する奨学金です。

奨学金を希望する場合は、各病院にお問い合わせ下さい。

病院名	連絡先
医療法人河崎会 水間病院	<u>072-446-1102</u>
社会医療法人慈薫会 河崎病院	<u>072-446-1105</u>

日理協 20 第 311 号

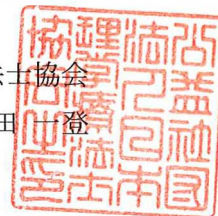
2020 年 12 月 18 日

学校法人河崎学園

理事長 河崎 建人 様

公益社団法人 日本理学療法士協会

会長 半田 一登



理学療法士教育における大学院修士課程の設置について（要望）

わが国における理学療法士養成教育は、1960 年代後半から専門学校にて行われ、この時期に日本学術会議から政府に対し、理学療法士教育を大学 4 年制とし大学院を附置すべきとの意見書が出された。その後、1979 年から金沢大学へ短期大学部が加わり、1992 年には広島大学に初めての 4 年制大学が設立された。現在、全養成校 274 校のうち 4 年制大学は 126 校あり、そのうち大学院併設校 59 校（修士課程のみ 22 校、博士課程 37 校）となっている。

理学療法士養成教育が高学歴化した背景には、リハビリテーション医療の急速な高度化、多様化に対応できる豊かな知識、研究心と応用力を持った人材育成の必要性があったものと考えられる。そして、このような高い教育を受けた理学療法士の並々ならぬ努力や研究が、理学療法士の発展に大きく貢献してきた。

今後ますます発展し高度化していくと予想されるリハビリテーション医療に幅広く対応するには、さらに高い専門知識と実践力を兼ね備えた理学療法士の確保が不可欠である。そのためには、現在の 4 年制大学の教育に加えて、大学院修士課程、博士課程において高度な学術的基盤を修得し、豊かな人間性と次世代を担うことができる研究能力を備えた将来の教育者、研究者、指導者を育成していかなければならない。

しかしながら、前述のとおり、現在大学院を設置している理学療法士養成 4 年制大学は 59 校のみである。向学心を持った社会人の入学者、入学希望者が年々増加している傾向を考えると、理学療法士教育を行う大学院はまだ不足しており、私立大学にその設置を特に期待するものである。

本会としては、修士あるいは博士の学位を持つ現理学療法士が数多く輩出され、将来の理学療法を先導し、国民保健への役割を果たさなければならぬと考えている。よって大阪河崎リハビリテーション大学に修士課程を設置することを強く要望するものである。

以上

日作協発 第 187 号

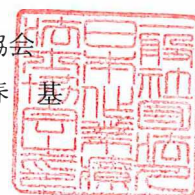
2021 年 1 月 15 日

学校法人 河崎学園

理事長 河崎 建人 殿

大阪河崎リハビリテーション大学

学長 武田 雅俊 殿

一般社団法人 日本作業療法士協会
会長 中村 春 基

大学院リハビリテーション研究科（修士課程）の設置について（意見）

高度な専門教育と学術研究は、国家資格たる作業療法士が真に国民の健康と福祉に資する者であり続けるために必須の要件である。一般社団法人日本作業療法士協会はこのことを定款の中核に掲げ、1966年の設立以来半世紀以上に亘って、作業療法の学術の発展、作業療法士の技能の向上を促進する活動を展開してきた。

この間、本会は、1972年に作業療法士の四年制大学教育を国に要請したことを皮切りに、1977年の日本学術会議の勧告（リハビリテーションに関する教育・研究体制等について）を追い風にして、1979年、1986年、1990年と継続して四年制大学と大学院課程による高度な専門教育と研究体制の必要性を訴え続けた。かかる要望活動が実って1992年に初の四年制大学、1996年には初の大学院が開設され、求めていた基盤整備が漸く緒に就いたものの、四半世紀を経た今日においても四年制大学は91大学、大学院を置く大学は51大学であり、修士780名、博士423名を数えるに過ぎない（2019年度現在）。10万人になる作業療法士の学術的基盤を支える教育者・研究者を充足させるには程遠い状況である。

他方、本会は作業療法士の資格取得後の継続的な学術技能の研鑽を期するため、1998年に生涯教育制度を創設。その後も制度改定を重ねながら、認定作業療法士制度（2004年）、専門作業療法士制度（2009年）を構築してきた。特に専門作業療法士制度は高度且つ専門的な作業療法実践能力を有する者を認定する制度であり、その発展・拡充のためには大学院との連携・相互協力は欠かすことができない。専門作業療法士が様々な分野に及んでいるように、大学院にも特色ある多様な修士課程、博士課程が設置されることが望ましく、今後のさらなる展開が期待されるところである。

以上のことから本会は、貴学に大学院リハビリテーション科が設置されることを強く期待するものである。とりわけ認知症のリハビリテーションの発展については本会の取り組みと一致するところであり、貴学大学院が認知リハビリテーションの学術研究に寄与し、根拠に基づく作業療法実践を支える拠点となって、有能な作業療法指導者を数多く世に送り出されることを切に願っている。

日言協 02-31 号
令和 3 年 1 月 21 日

学校法人 河崎学園
理事長 河崎健人 殿
大阪河崎リハビリテーション大学
学 長 武田雅俊 殿

一般社団法人日本言語聴覚士協会
会長 深浦 順一



大阪河崎リハビリテーション大学
大学院リハビリテーション研究科（修士課程）設置に係る意見書

平素より本協会の事業にご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、この度貴大学において大学院リハビリテーション研究科（修士課程）の設置を計画されておられますことに賛意を表明いたします。

現在、少子高齢社会を迎え、リハビリテーション専門職（言語聴覚士、理学療法士、作業療法士）が果たすべき役割は大きなものとなっております。特に、認知症や認知機能の低下がみられる高齢者の急増に対する対応は国民的課題であり、その予防、評価、指導、環境整備などに取り組む専門職の育成と専門性の向上は喫緊の課題であります。また、言語聴覚士の領域では従来の脳卒中後遺症のコミュニケーション障害だけでなく、急増する加齢性難聴と高齢者の摂食嚥下障害に対する取り組みを強めているところです。これらの分野における学術研究活動の進展は、広く国民の健康と福祉に寄与するものと考えます。

言語聴覚士の養成校は 74 校 80 課程、大学 4 年生課程は 26 校であり、そのうち大学院を設置しているのは、15 校と、高度な専門性を学修する教育施設は非常に少ないのが現状です。貴大学において大学院リハビリテーション研究科（修士課程）を設置されますことは、誠に時宜を得たものであると考えています。本協会と致しましても、言語聴覚士の専門性を向上させることにつながる貴校の大学院研究科の設置計画の実現を切に願っております。

末尾となりましたが、貴校のますますの発展を祈念いたします。

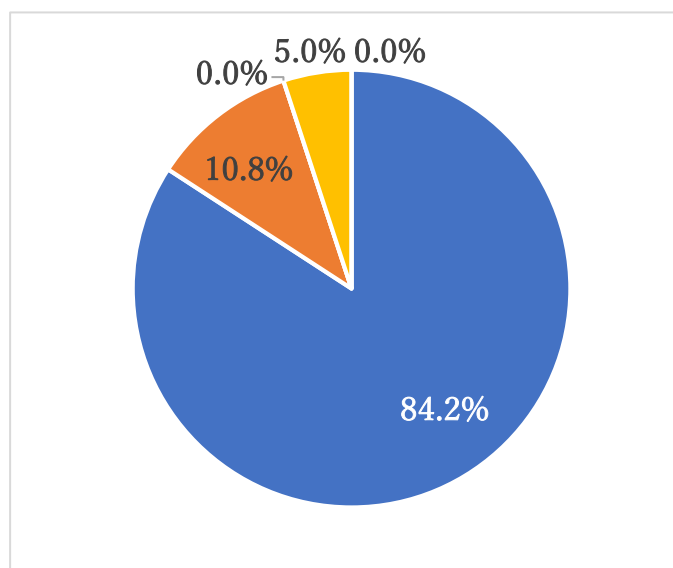
2020 年 4 月

対象者	2014-2019 年度臨床実習派遣先 施設長 (若しくはリハビリテーション科責任者)
調査期間	2019 年 10 月～2020 年 3 月
調査方法	郵送によるアンケート送付
回答者数	139 施設 (246 施設に郵送) 回収率 56.5%

【アンケート結果】

1. 貴施設はどれに該当しますか？

■ ① 医療施設	117	84.2%
■ ② 介護福祉施設	15	10.8%
■ ③ 養成校	0	0.0%
■ ④ その他	7	5.0%
■ 未回答	0	0.0%
計	139	

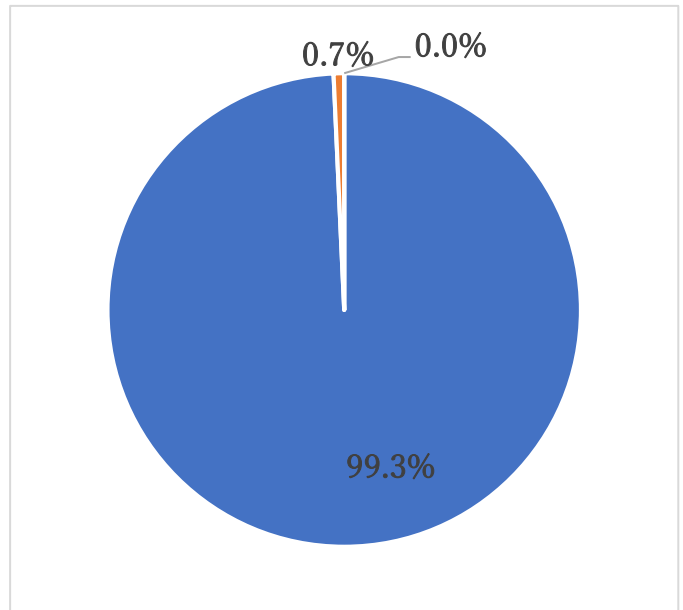


その他の内訳

老健	1
支援学校	1
社会福祉法人	1
保健福祉センター	1
児童発達支援	1
医療型児童発達支援センター（診療所併設）	1
未回答	1

2. 貴施設には理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が就労していますか？

■ ① 就労している	138	99.3%
■ ② 就労していない	1	0.7%
■ 未回答	0	0.0%
計	139	

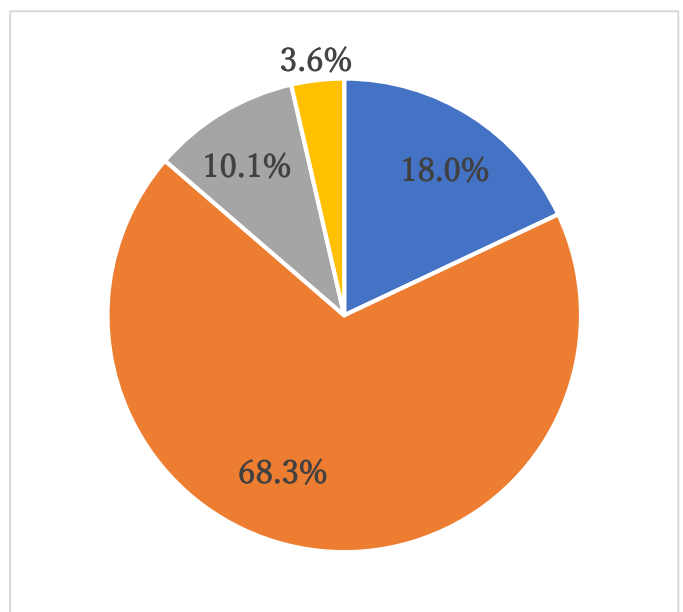


①の場合、それぞれ何人が就労していますか？（総数）

理学療法士	2,211 人
作業療法士	1,077 人
言語聴覚士	461 人

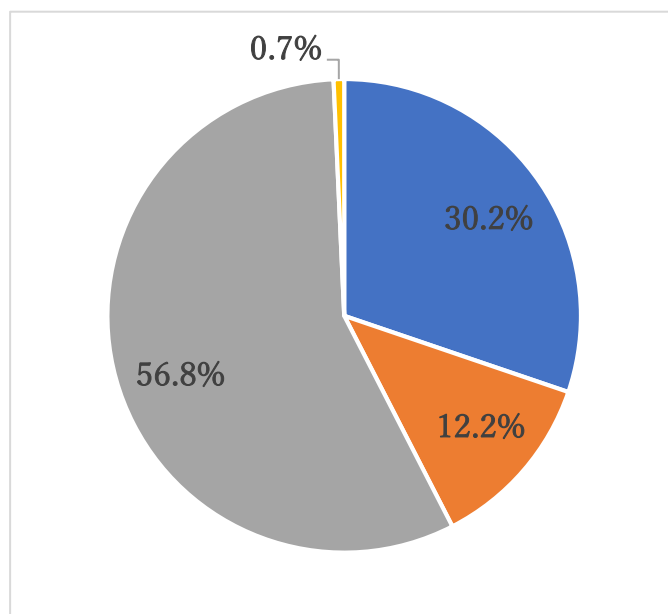
3. 就労している療法士の知識やスキル不足に対する再教育の必要を感じていますか？

■ ① 大いに感じている	25	18.0%
■ ② 感じている	95	68.3%
■ ③ 感じていない	14	10.1%
■ 未回答	5	3.6%
計	139	



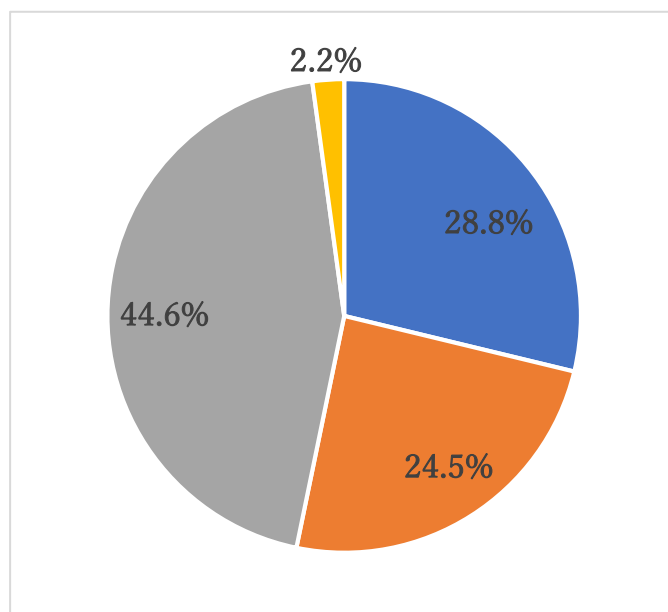
4. 今後、修士号の学位を有する療法士の職員を採用する考えがありますか？

■ ① ある	42	30.2%
■ ② ない	17	12.2%
■ ③ 未定	79	56.8%
■ 未回答	1	0.7%
計	139	



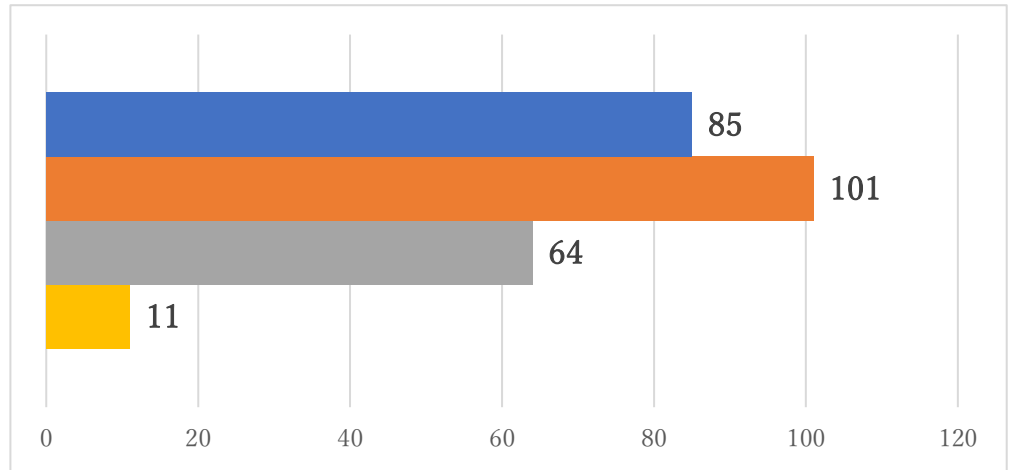
5. 貴施設の療法士で大学院進学を希望している職員はいますか？

■ ① 希望者がいる	40	28.8%
■ ② 希望者がいない	34	24.5%
■ ③ わからない	62	44.6%
■ 未回答	3	2.2%
計	139	



6. 貴施設が大学院終了者に期待するものは何ですか？（複数回答可）

- ① 業務の正確性、緻密性、独創性など高度な専門的知識
- ② 高度な専門知識に基づく療法等の実践能力
- ③ 他職種と連携し、統合、調整する管理能力（リーダーとしての役割）
- ④ その他



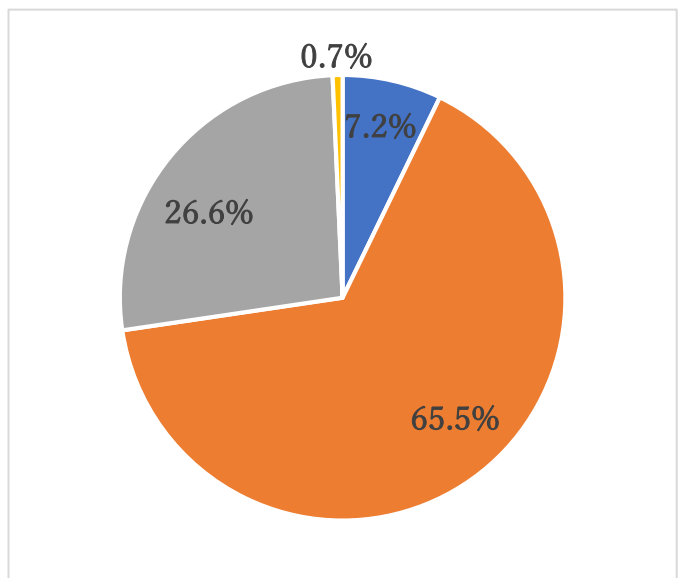
その他の内訳

総合的な人間力	1
研究のリーダー	1
研究能力	2
研究活動・学会発表	1
人に対するやさしさ気づき	1
OTの社会的地位の向上	1
協調性	1
ほかのセラピストへの教育	2
現状必要なし	1

7. 大阪河崎リハビリテーション大学大学院認知リハビリテーション科学専攻（修士）が開設されるとしたら、興味・関心はありますか？

たら、興味・関心はありますか？

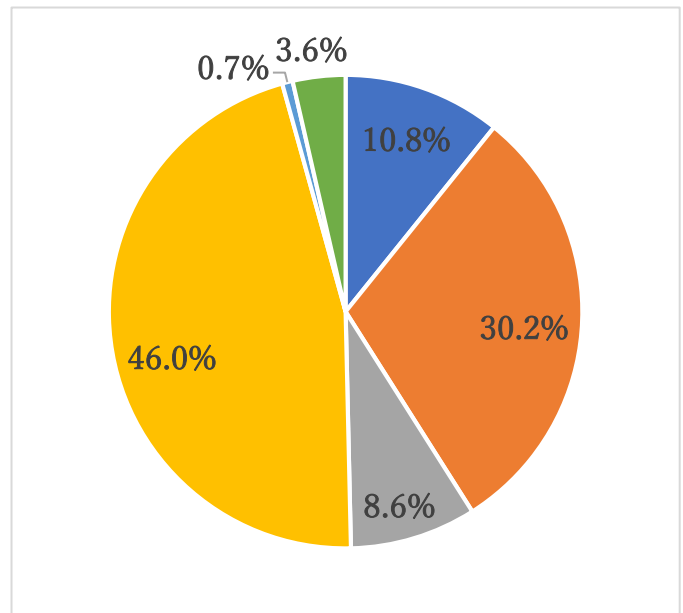
■ ① 大いにある	10	7.2%
■ ② ある	91	65.5%
■ ③ ない	37	26.6%
■ ④ 未回答	1	0.7%
計	139	



8. 本学大学院認知リハビリテーション科学専攻で学びたい職員が、夜間や土日など勤務に支障を来さ

ない範囲で現職のまま入学したいとの希望があった場合の対応についてお尋ねします。

■ ① 積極的に許可する	15	10.8%
■ ② 許可する	42	30.2%
■ ③ 希望職員によっては許可する	12	8.6%
■ ④ 条件によっては許可する	64	46.0%
■ ⑤ 許可しない	1	0.7%
■ 未回答	5	3.6%
計	139	



9. その他、自由に記載して下さい。

- ・院、博士はキャリアとみとめています。当院の研究内容と一致する内容の院へ進めています。
- ・設問6にある「大学院修了者に期待するもの」に関しては、大学院修了者に関わらず全ての職員に期待するものであると考えます
- ・人員が充実すれば大学院も考えやすくなると思います。
- ・前例がないため希望者が出た際に法人と相談になると考えます。基本は土日祝が休みのため対応はできると思います。
- ・専門学校卒業後の大学・大学院への編入について単位認定に関する基準があれば明記頂くと興味のある職員にはありがたいです。ご検討よろしく申し上げます。
- ・私は貴大学前身の専門学校の卒業ですが、母校に大学院が設置されることは大変喜ばしく誇りに思います。一方で、学部生の入試偏差値と国試合格率低迷は、今後の母校の存続の為に早急に対策が必要と考えます。その為にも、大学院の設置の際には、設置要件を満たす為だけの数合わせの教員を揃えるのではなく、学部から大学院へと目指せるような一体的な教育機関になることを望みます。また、現教員の先生方には教育者としてだけでなく研究者としての成果を、論文として内外にお示しいただき、学部生が研究者、教育者としての道を目指したいと思える学部（卒前）教育をぜひお願いいたします。
- ・管理部との相談後の対応になります。
- ・介護福祉施設と児童発達支援施設も併設。大学院設置は嬉しいです。8にあったように、現職者が学びやすい時間カリキュラムを組んでいただきたいです。
- ・どのような大学院になるのか興味がありますが法人として入学者（希望者）に対しどのような対応が可能かと考えると課題は多いと考えます。
- ・「認知リハビリテーション科学専攻」で具体的にどういった内容のカリキュラムを学習できるのか、今回のご案内だけでは残念ながら分かりかねます。ネーミングから私が想像するのは、「認知運動療法」「認知行動療法」などです。
- ・判断しにくい
- ・前例がないので不明
- ・貴大学の今後の発展を期待する
- ・設問3の「再教育の必要性」については感じることもあります。研修等の機会です。
- ・当リハセンターにおいて大学院進学希望者は不明ですが、公立みつき総合病院リハビリ部全体であれば希望者はあり、通学（県内の学校）しています
- ・貴校までのアクセスが大変なため平日夜間での通学は現実的ではないと感じています

大河大第 6 号
令和元年 10 月 8 日

各医療・保健施設長 様

大阪河崎リハビリテーション大学
学長 亀井一郎
大学院設置準備委員会委員長
武田雅俊
(公印省略)

大阪河崎リハビリテーション大学大学院研究科認知リハビリテーション科学専攻設置に向けてのアンケートについて（ご依頼）

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より本学の教育活動における実習生の受入、就職活動に格別なご支援ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、現代の健康・医療分野の高度な社会システムの構築や産業構造に対して、理学療法、作業療法、及び、言語聴覚療法に関するより高度な専門職業人を養成するため、本学では医療保健学部の理学療法学専攻、作業療法学専攻、言語聴覚学専攻を基礎とした大学院研究科認知リハビリテーション科学専攻の設置に向け、現在準備しているところであります。

つきましては、大変お忙しいところ誠に申し訳ありませんが、設置の趣旨をご理解いただき、別紙「アンケート」にご協力くださるようよろしくお願いいたします。

なお、「アンケート」については、返信用封筒に入れ、11月29日（金）までにご返送くださるよう併せてお願いいたします。

謹白

大学院進学需要に関するアンケート調査（施設長向けアンケート）

医療等施設名 _____

1. 貴施設はどれに該当しますか？
① 医療施設 ② 介護福祉施設 ③ 養成校（大学・専門学校など） ④ その他
（ ）

2. 貴施設には理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が就労していますか？
① 就労している ② 就労していない
①の場合、それぞれ何人が就労していますか？
㊦理学療法士 人
㊧作業療法士 人
㊨言語聴覚士 人

3. 就労している療法士の知識やスキル不足に対する再教育の必要を感じていますか？
① 大いに感じている ② 感じている ③ 感じていない

4. 今後、修士号の学位を有する療法士の職員を採用する考えがありますか？
① ある ② ない ③ 未定

5. 貴施設の療法士で大学院進学を希望している職員はいますか？
① 希望者がいる ② 希望者がいない ③ わからない

6. 貴施設が大学院終了者に期待するものは何ですか？（複数回答可）
① 業務の正確性、緻密性、独創性など高度な専門的知識
② 高度な専門知識に基づく療法等の実践能力
③ 他職種と連携し、統合、調整する管理能力（リーダーとしての役割）
④ その他（ ）

7. 大阪河崎リハビリテーション大学大学院認知リハビリテーション科学専攻（修士）が開設されるとしたら、興味・関心はありますか？ ① 大いにある ② ある ③ ない

8. 本学大学院認知リハビリテーション科学専攻で学びたい職員が、夜間や土日など勤務に支障を来さない範囲で現職のまま入学したいとの希望があった場合の対応についてお尋ねします。
① 積極的に許可する ② 許可する ③ 希望職員によっては許可する
④ 条件によっては許可する ⑤ 許可しない

9. その他、自由に記載して下さい。

以上です。ご協力ありがとうございました。